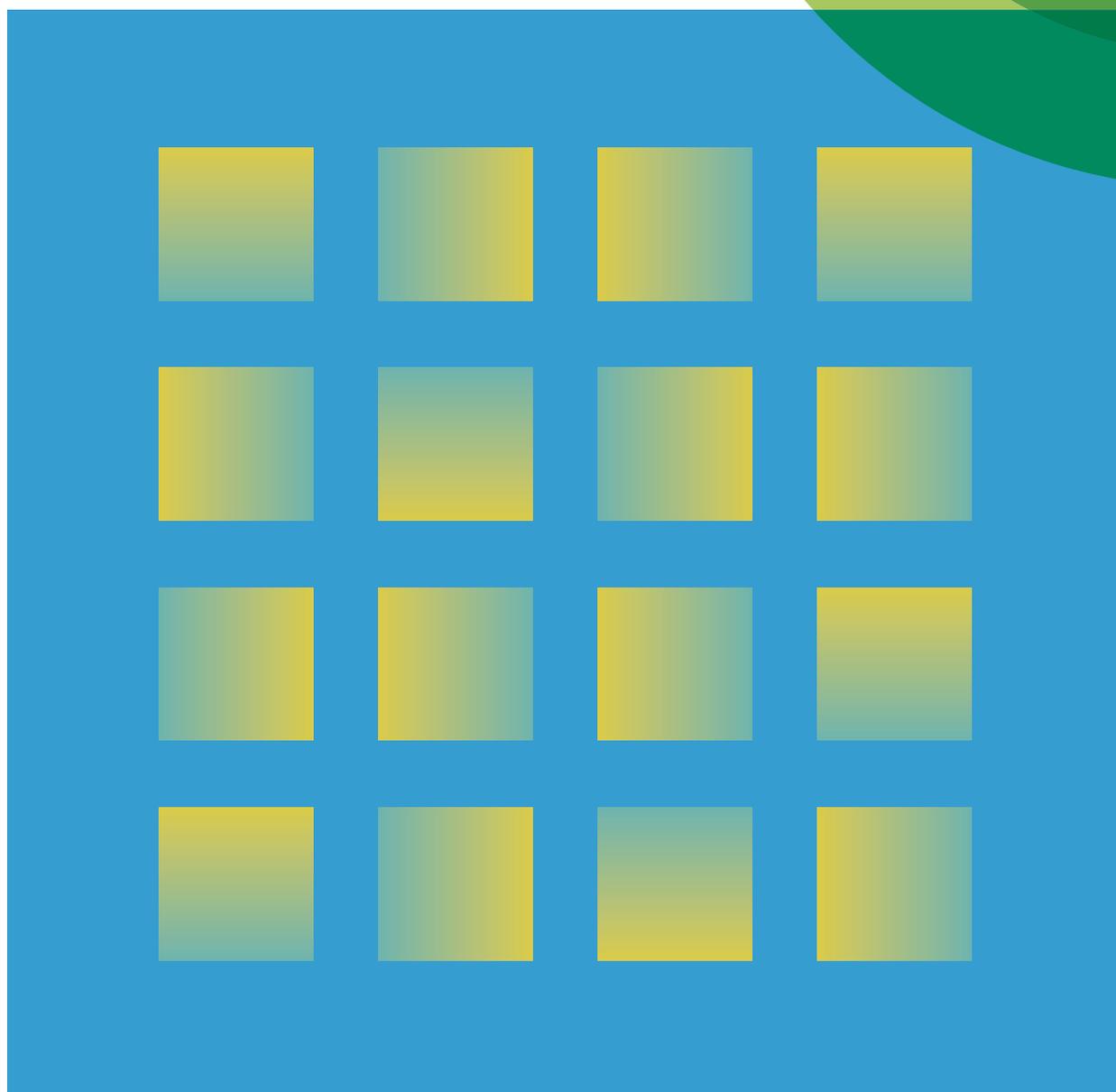


大学案内 2017

# 京都府立医科大学

KYOTO PREFECTURAL UNIVERSITY OF MEDICINE



# 京都府立医科大学をめざす あなたへのメッセージ

京都府立医科大学長 吉川 敏一

我が国は、医学の発展とともに超高齢化社会に突入しました。それに伴って、疾病構造も変化し、健康長寿を目指した色々な試みがなされています。医療人として、在宅医療や介護などの充実から再生医療やがん治療などの最先端技術まで幅広い知識が要求されています。美しい自然に囲まれたキャンパスで、自由闊達な雰囲気のもとで人格を磨き、楽しく勉強しましょう。

本学は明治5年に創立され、開学144年を迎えた我が国でも有数の歴史と伝統を有する医科大学です。この伝統をもとに、世界のトップレベルの医学を地域に生かすことをモットーとしています。

私が、本学で医師や看護師、研究者を目指し、学ぼうとする諸君にお伝えしたいことが三つあります。

その一つは、学び、研究することには無上の楽しさがあります。そのためには、心に余裕を持ち、多くの人々と接し、柔軟に発想し、しかも深く探究していく姿勢が重要です。また、グローバルな幅広い視野を絶えず持っていたきたいと思います。

二つには、医療人には、高い倫理観が求められます。社会人としての倫理は勿論のこと、医療上の倫理をも身につけておくことが必要です。そのためには学生時代から、その意識を常に持ち、それを蓄積していく努力が必要です。

三つめが患者さんやその家族との接し方を身につけていただきたいことです。寄り添うように相手の声を聞き、相手の立場を踏まえて判断する能力を備えることです。これは一朝一夕にできるものではありません。学生時代の暮らしの中で培われるものです。

諸君の夢と希望に満ち充ちた顔にお会いすることを楽しみにしています。



## CONTENTS

### 01 学長あいさつ

#### 医学部医学科

### 03 医学科の目指す教育

### 05 カリキュラム概要

- 教養教育
- 基礎医学
- 社会医学
- 臨床医学

### 11 卒業後について

- 卒業前後の医学教育及び研修
- 卒業後の進路
- 医師国家試験結果

### 12 海外研修を受けた学生の声

### 13 在学生の声

### 15 卒業生の声

#### 医学部看護学科

### 17 看護学科の目指す教育

### 19 カリキュラム概要

- 基礎・教養科目
- 専門基礎科目
- 専門科目

### 21 保健師・助産師資格取得について

### 22 卒業後について

- 卒業後の進路
- 取得できる資格
- 国家試験結果
- 卒業後の活躍のフィールド

### 23 在学生の声

### 25 卒業生の声

### 27 特色ある教育

- 教養選択科目
- 北部地域医療実習

#### 大学院

### 29 大学院医学研究科

- 医科学専攻（修士課程）
- 統合医科学専攻（博士課程）

### 31 大学院保健看護学研究科

- 保健看護学専攻（修士課程）

### 32 研究活動

### 33 教育スタッフ

### 35 キャンパスライフ

- 年間スケジュール
- クラブ活動

### 37 キャンパス周辺マップ

### 39 附属病院

- 病院紹介
- メディカルセンター
- 小児医療センター
- 各種指定・先進医療

### 42 附属北部医療センター

### 43 関連施設等紹介

- 附属脳・血管系老化研究センター
- 附属図書館
- 医療センター
- 関係病院

### 45 卒業後の進路 奨学金・減免制度等

### 46 入学試験情報

### 47 大学沿革

### 49 キャンパスマップ・交通アクセス

● **カリキュラム概要**

教養教育、基礎医学、社会医学、臨床医学

● **卒業後について**

卒業前後の医学教育及び研修、  
卒業後の進路、医師国家試験結果

● **海外研修を受けた学生の声**● **在学生の声**● **卒業生の声**

## 医学科の目指す教育

わが国の医学教育や国家試験制度などは大きな変革期にあります。現在、全国共通的なカリキュラムと各大学独自のカリキュラムの構築について、全国的に作業が進められており、本学でも、特色を活かした新たな統合医学教育カリキュラムがスタートしています。

本学では平成26年度から新カリキュラムにより医学教育を実施しておりますが、入学後、平成26年度に開設された下鴨キャンパスで教養教育が行われ、第2学年から本格的に専門教育が河原町キャンパスで行われます。教養教育では、リベラルアーツと医学専門教育の準備教育科目とがあり、それらを幅広く学びます。医学は純然たる自然科学ではなく、人文科学、社会科学の要素を多分に含んでいます。人文科学、社会科学的な教養を身につけることは諸君が医師となった場合に「病人を診ずして病気を診る」のではなく、患者さんの悩みや痛みが解る心の醸成にとって大切なことです。入学後、医学について何を学んでほしいとか、基礎医学、社会医学、臨床医学などの概要について教養課程の総合講義の中で話を聴くこととなります。また、早期体験学習と題して診療、研究の見学も行っています。専門課程では基礎医学、社会医学、臨床医学の講義、実習、演習など全て必須科目となっています。臨床実習では病室で患者さんを受け持ち、直接患者さんと接する教育が行われます。

医学科の目指す教育の骨子は、将来どのような分野に進むにしろ自ら学び、心、技、体に優れた医師を育成すると共に、国際的視野で物事をとらえ、探求心旺盛で国際競争に打ち勝てる医師・医学研究者を、一人でも多く生み出せるよう教育を行うことにあると思います。諸君もそのような姿勢で努力し、勉学に取り組み、自己を磨いていただきたいと思います。



# カリキュラム概要

## Curriculum

学びの街・京都の恵まれた環境に広がる、河原町、広小路、下鴨の3つのキャンパス。設立以来、脈々と受け継がれてきた教育理念をもとに、歴史と伝統に培われた独自の基礎・臨床医学の統合カリキュラムによって、新たな時代を拓く、医師及び医学研究者を育成しています。

### 幅広い教養と専門医学教育の連携により、医療・研究分野の第一線で活躍する人材を育成

京都府立医科大学では、療病院開設以来、一貫して、幅広い教養と専門に必要な基礎教育と医学教育との連携が重視されてきました。そこで現行のカリキュラムにおいては、教養教育の講義と実習が第1学年の間、下鴨キャンパスで行われ、第2学年から河原町キャンパスにおいて基礎医学教育が開始され、順次、社会学、臨床医学の講義、実習が実施されていきます。

京都府立医科大学の教育理念は、国際的にも通用する一流の医師・医学研究者を育てるということに尽きます。単なる医療を施す医師、研究者の育成ではなく、社会の指導者としての人材を輩出することが本学の使命であると考えています。

### 最先端の教育設備と研究機器を備え、三大学教養教育共同化ならではの特色あるプログラムを展開

1学年の定員が約100名であるという特徴を生かして、教育にはきめ細やかな配慮がなされています。第1学年では、早期体験実習として本学附属病院や研究室の見学を行い、医学・医療に対するモチベーションを高めるような医学準備教育に努めています。教養教育では、通常の講義形式で行われる一般教育科目や京都工芸繊維大学及び京都府立大学との三大学教養教育共同化科目を提供し、より幅広い教養を身に付けることができます。また、

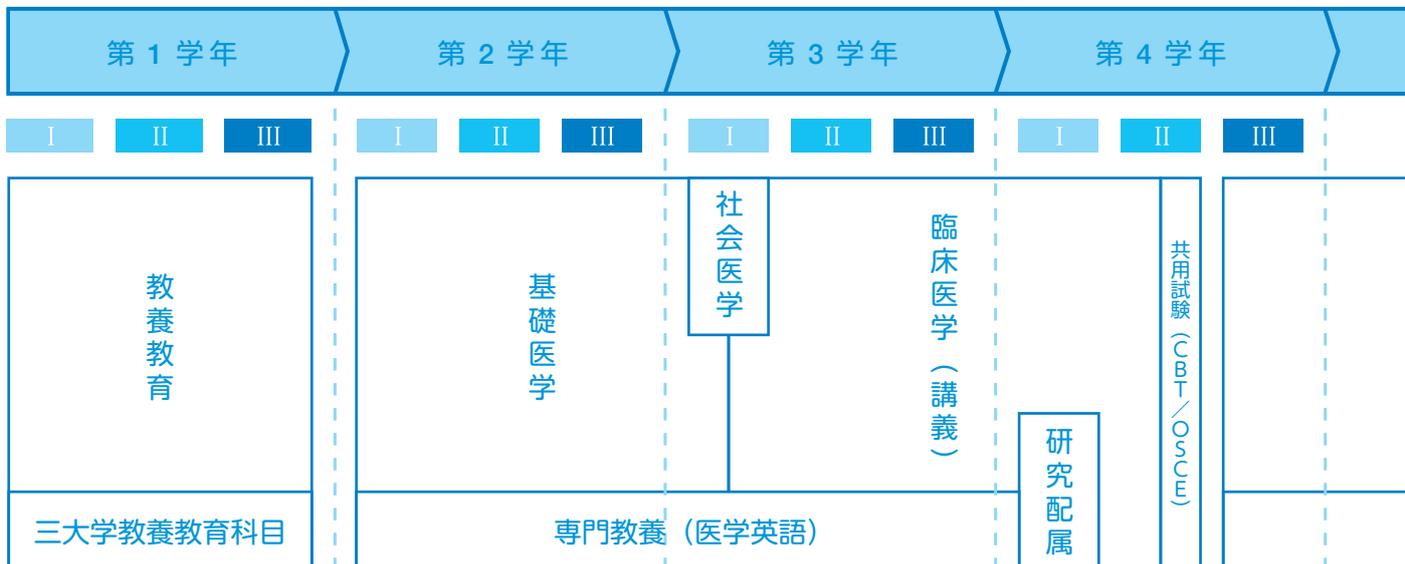
自然科学系科目の実習については、クラス分けを行い、よりきめの細かい教育を実践しています。

専門教育においては、従来の解剖学、生理学、内科学、外科学といった系統講義のほかに、総合講義制度を取り入れ、特定のテーマについて横断的な講義が用意されています。例えば、「遺伝子診断・治療」という科目では、内科、小児科、免疫学教室等、基礎と臨床の教員により総合的講義が行われ、教育効果をあげています。

第4学年では、基礎医学分野の研究室において基礎研究を体験する研究配属プログラムでリサーチ・マインドを育み、また、臨床実習に進む前にCBT(Computer Based Testing)とOSCE(Objective Structured Clinical Examination)という共用試験があります。

### 数多くの症例を学ぶため、臨床実習の場は学外関連病院や海外での実習留学へと広がり

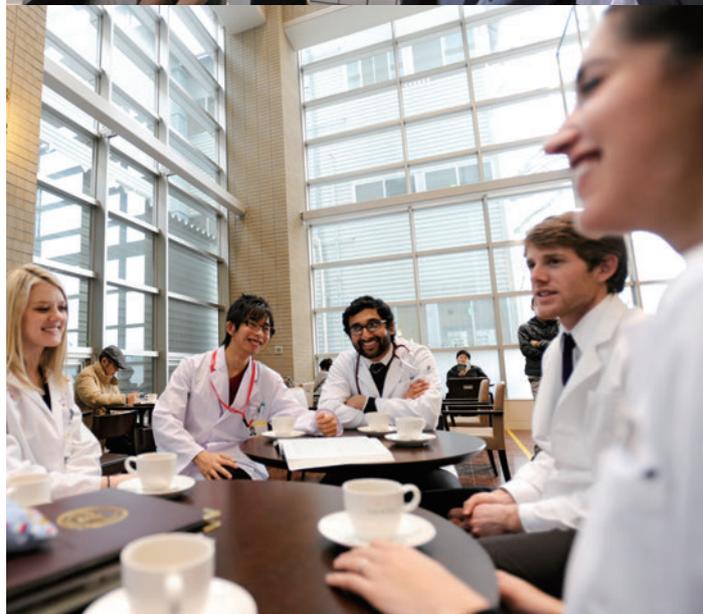
臨床実習については、従来43週間実施していましたが、平成26年度からの新カリキュラムでは72週間実施し、より実践的な教育を行い、プロフェッショナリズムを持った医療人の育成を目指します。実習は京都で最大規模を誇る附属病院で行いますが、大学の関係病院へも学外臨床実習の場として、高学年の学生を積極的に派遣しています。関係病院とは、大学と密接な関係にある総合的な病院で、実習を通して多くのプライマリ・ケア症例を学



びます。また、アメリカ合衆国のオクラホマ大学医学部や英国リーズ大学医学部などでの4週間の実習留学も可能となっています。第6学年の最後に卒業試験、そして医師国家試験があります。

教養教育及び専門教育のいずれも各学年においてクラス担任制度をとっており、学業の悩み等についても緊密な指導体制を整備しています。

最後に、本学では、医学生が卒業までに履修すべき医学・医療に対する姿勢や技能、知識について必須の医学教育内容が精選されているモデル・コア・カリキュラムを基本に、本学の教育理念や特質、特徴を生かした学体系(-logy)を基盤とした医科学教育とPBL(Problem Based Learning)教育とのバランスに留意した独自の医学教育統合カリキュラムが作成されています。また、長い歴史と伝統に培われた貴重な資料・文献や豊富な基礎・臨床研究に裏打ちされた優れた医学教育環境の形成に努めています。



### 第5学年

### 第6学年

I

II

III

I

II

III

臨床医学（実習）

縦断講義  
(医療倫理・統計等)

卒業試験

国家試験

# 教養教育

## 専門分野への導入とともに人間性光る 幅広い教養の習得

教養教育は、人類が築き上げてきた知の体系を学ぶと同時に市民としての自己を確立する課程です。もちろんこのような目標は短い教養教育の期間だけで達成できるものではありません。一生の全期間を通じて努力すべきものであり、今後の人生の基盤になるものです。また、同時に医学専門教育の準備教育として医学準備型コアカリキュラムに沿った教育が行われます。教養教育は専門教育とは分離された別個のものではなく、6年間一貫教育の最初の部分と位置づけられています。医師、医学研究者の卵である医学生は、語学や自然科学の基盤的な学力を養うと同時に、人類、世界の未来を担う幅広い教養と視野を持ち、他者を理解するコミュニケーション能力を備え、現代の諸問題を理解する十分な知識、その解決策を探る判断力、市民意識を備えながら、それぞれの専門分野に向かって大きく育ててもらいたいと考えています。

### 【教養教育開講科目一覧（第1学年）】

	I 学期	II・III 学期
人文科学	倫理学	現代正義論
	哲学	
	心理学	
	日本文学 I	日本文学 II
	芸術学	
社会科学	歴史学	
	医史学	
	法学	
	経済学	
	人文地理学 I	人文地理学 II
自然科学	数学	
	物理学	
	物理学実習	
	生体分子化学	
	化学実習	
	生物科学	
	生物学実習	
	生命物理化学	現代生命科学
	情報リテラシー	応用解析学
		近代物理学
外国語	英語 1	
	英語 2	
	ドイツ語 I	ドイツ語 II
	フランス語 I	フランス語 II
	スペイン語 I	スペイン語 II
	中国語 I	中国語 II
	朝鮮韓国語 I	朝鮮韓国語 II
		ラテン語
その他	体育	
	総合講義（医学概論 I）	
	総合講義（人権教育）	

※黒文字は必修科目、青文字は選択科目

※三大学共同化科目については、27 ページ参照

本学附属病院や基礎・社会医学系教室の研究室での早期体験実習において、発表、討論、テーマ別実習を行うなど、自ら考え、主体的に取り組むカリキュラムも用意されています。

教養教育として学ぶ科目は、人文・社会・自然・外国語科目などに分けられます。

## 将来を担う医療人としての資質を磨くとともに 基礎的実習などを通じた生きた学びを体験

### 人文科学分野

人文科学分野では、環境倫理や人間の尊厳（倫理学）、諸宗教の本質と歴史（宗教学）、哲学史の主要問題（哲学）、知覚・学習・発達（心理学）、文学の主題（国語・国文学）などを学びます。なお、旧カリキュラムでは第1学年で開講していた医療倫理学については、よりモチベーションの高い第5学年で開講し、生命倫理や医療倫理を扱います。

### 社会科学分野

社会科学分野では、社会事象を歴史的（歴史学）、経済的（経済学）、法的（法学）及び地理的（人文地理学）観点から捉える方法を学びます。また、医療を歴史的観点から学ぶ医史学、医療文化史学の講義もあります。

### 自然科学分野

自然科学分野の数学では、現代人が物を考える筋道の根本を考えるために微積分学、線形代数学、さらには応用解析学、統計学などを学びます。物理学・近代物理学では、力学、電磁気学、コンピューターを活用しての情報科学、あらゆる現代科学の基盤である量子力学、統計力学の基礎、これらを理解するための基本的な項目についての実習を行います。生体分子化学・生命物理化学の講義では、ヒトの生体構成分子を化学構造から理解するとともにその挙動を定量化する基本理論を学びます。また、実習では生理活性化合物・ペプチド・蛋白質の化学的取り扱いを学びます。生物科学・現代生命科学では、細胞生物学、分子遺伝学、発生生物学に関する講義があり、さらに解剖（動物）、発生、組織、分子生物学などに関する実習を行います。

臨床倫理と関係する生物統計学は、コンピューター実習と一体化して、モチベーションの高い第5学年で開講します。

### 語学分野

語学分野においては、英語では実際の運用を重視しつつ、専門的医学英語への導入として医学関連英語に触れるとともに、英語学・英文学にも親しめるよう配慮されています。第二外国語としてドイツ語、フランス語、ラテン語、中国語等を学ぶことができます。

平成26年度からの新カリキュラムでは、それまで第1学年のみで行っていた英語教育を、第2学年から第4学年まで継続的に実施し、高い英語力を身につけることにより、将来、国際的な医療人・研究者として活躍できる人材育成を行います。



# 基礎医学

## 充実した講義と実習を組み合わせ、医療・医学の根幹を学ぶ本学独自の基礎医学教育

基礎医学とは、人間の体の構造と機能を究明する学問で、医学・医療の根幹をなす分野です。生命現象は極めて精密に制御されており、調和が保たれていますが、それがどのようなメカニズムで行われているのかを、「形態」と「機能」の両面から学ぶことが、基礎医学の第一の目的です。そして、疾病が起こるのは、このような制御や調和が乱され、修復できなくなった時であることを理解することが第二の目的です。このようにして、臨床医学教育を受けるための基盤を築きます。この目的を達成するために、第2学年から第3学年にかけて、解剖学、生理学、分子医科学、病理学、感染病態学、免疫学及び薬理学を学びます。幸いなことに、本学の長い歴史の中で培われた伝統が基礎医学教育に独自性と多様性をもたらし、貴重な資料や豊富な研究実績に裏打ちされた授業は大変充実した内容となっています。

## 生命現象を「形態」および「機能」面からアプローチ 生命の尊厳について考えることも教育目的に

### 解剖学

解剖学は、医学における最も基本的な学問であるため、授業時間も多く、講義・実習と多様な授業方式を駆使することによって、理解を深める工夫がなされています。解剖学の目的は、「かたち」を科学すること、すなわち形態の上から生命現象の本態を追求することにあります。それと同時に、生命の尊厳について深く考えることが重要な目的です。そのために、人間に関する解剖学を中心に、幅広い教育が行われます。

### 生理学・分子医科学

生理学、分子医科学においては、生命現象を機能面から動的にとらえて理解するために、多くの研究成果に基づいて、分子、エネルギー、情報、ゲノムなどの観点から制御や代謝の機構を学びます。そして、疾病の発生メカニズムを理解するための基盤を築きます。この医学分野は進歩が早く、定説はしばしば新しく塗り変えられています。したがって、この事実を自分で正しく理解し、批判的思考を基に独自の視点を立てることのできる能力を養うことが重要です。このようなポリシーの下に、現時点でまだ解明されずに残されている問題点や、その解決方法について考える機会を与えることにも配慮した授業が行われています。

### 感染病態学・免疫学

感染病態学では、細菌、ウイルス及び寄生虫による感染症について学びます。また、国際交流が進んでいる現在、日本国内ではほとんどみられない感染症に海外で感染したり、外国人による感染症の持ち込みなどの新しい問題が生じているので、その知識を習得し、対策方法を学ぶことも授業内容に含まれています。

この病原体の感染に対して、ヒトの体が身を守るしくみが免疫です。免疫系は、他の生体システムとは全く異なる驚きに満ちており、免疫学ではこの驚異のメカニズムについて学びます。免疫はまた、アレルギー性疾患、自己免疫病、悪性腫瘍、臓器移植や再生医療にも密接に関連していますので、基礎から臨床への関連まで学びます。

### 薬理学

薬理学では、薬物の生体内動態、薬理作用と副作用、薬物の相互作用などを学びます。また、将来臨床医となったときに的確な薬物療法が行えるように配慮された授業内容となっています。

### 病理学

臨床医学の基盤となる病理学においては、疾病の原因や成り立ちを具体的に把握することを目的として、形態から分子機構に至るまで極めて広範囲で、しかも密度の高い授業が行われています。そして、実際に自分の目で見て、納得できるまで実習できるように配慮されている点は特記すべきところ です。また、実際の医療症例を臨床と基礎が協同で総合的に解析する臨床病理学のコースも開かれています。

以上の基礎医学の授業を受けた後、研究配属のコースが設けられています。これは、学生が基礎医学分野の研究を自主的に実習することを可能としたプログラムで、感受性に優れた学生時代に基礎医学及び社会医学の研究室に出入りして基礎医学研究に参画することにより、将来の医学研究者の芽を育むことを目的としています。



# 社会医学

## 社会的存在としての人間の健康に着目し、 包括的なケアによる予防、治療の実践手法を学ぶ

基礎医学や臨床医学と社会医学との違いは、互いに関連するために厳密に区分することは困難ですが、教科としては、保健・予防医学、法医学などが含まれ、いずれも社会との関わりを何らかの形で持つ領域になります。保健・予防医学では、健康という概念を考える場合に、肉体や精神の健康だけでなく社会的にも健康であることが重要であることを、特に教育されます。具体例には、医師が体の健康ばかりに目を向けていると、心理的問題に起因する疾患に対して正しい対処ができなくなります。従って、その心理的問題のバックグラウンドとして患者さんの職場環境や人間関係などの社会的要因が、健康にかかわる極めて重要な要素となりえます。このように、社会医学では健康を肉体的・精神的・社会的側面から包括的に考えることが一つの重要なポイントとしてあげられます。この他、予防医学や環境医学を地域的、国際的に展開していくことの重要性も強調されます。分子レベルの手法から疫学的手法までの様々な方法を活用して、目的を達成することを学びます。

## 地域社会との関わりの中で医療をとらえ患者さんにとって必要な社会的支援等の知識を習得

医療は医学の社会的適用であるとも言われており、医学を社会化していく際の原理と原則を学んでいくことが社会医学教育の中で行われます。例えば、脳卒中のために能力低下を残して退院していく患者さんが、介護保険の認定対象となるのか、地域におけるどのような資源を利用することが可能なのかといったことを臨床医が知らずに告知しなければ、患者さんは必要なサービスを受用することができません。喫煙は健康に良くないことは誰もが知っていますが、病気をもちながら喫煙を止められない多くの患者さんがいます。喫煙を止めるためにはどのような社会的支援が必要なのかといったことも社会医学の大きなテーマです。



## 現代社会において重要性が高まる「医療と法律」の 関係について学び、社会医学的諸問題に対応

法医学は、社会の法律上の諸問題について医学的検討を行う社会医学の一部門です。現代社会では、生活様式の変化、高齢化社会、疾病構造の変化、医療環境の激変などに伴い、従来遭遇したことのない新しいタイプの社会医学的諸問題が発生しており、法医学はこの社会現象に対して医学的検討を行い、その解決に寄与しています。例えば、複雑多様化している「死の態様」について、犯罪性死体に対しては司法解剖を通して事件・事故の解明に寄与し、非犯罪性死体に対しては承諾解剖を通して、医学的要因だけでなく社会的要因を含む、異状死に至った原因を解明し、遺族・社会に還元しています。また、法医学は臨床医学と極めて関係が深く、「臨床法医学」の立場から、医事法規・医療事故・医療訴訟、医学生命倫理学（先端医療、臓器移植、遺伝子治療、不妊治療、新しい医療観など）に貢献しています。このように、法医学では、「医療と法律」の関係について、自然科学と社会科学を包括した社会医学的視点から学ぶことになります。

### 【専門教育開講科目一覧】

	授業科目	2年次			3年次			4年次			5年次			6年次			
		I	II	III													
専門教育	基礎医学																
	解剖学	●	●														
	生理学	●	●														
	分子医科学	●	●														
	感染病態学(微生物・医動物学)			●	●												
	免疫学			●	●												
	薬理学			●	●												
	病理学			●	●												
	社会医学					●	●										
	法医学				●	●											
臨床医学	内科学						●	●									
	外科学					●	●										
	脳神経外科学							●									
	整形外科							●									
	産婦人科学					●	●										
	小児科学							●									
	眼科学							●									
	皮膚科学							●									
	泌尿器科学							●									
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学							●									
精神医学					●	●											
放射線医学					●	●											
麻酔科学							●										
疼痛緩和医療学							●										
臨床検査医学						●	●										
救急医療学								●									
総合診療学									●								
リハビリテーション医学								●									
生物統計学									●								
臨床実習										●	●	●	●	●	●	●	
地域医療実習												●					
その他	総合講義				●	●						●					
研究配属								●									
英語(教養・医学)	●	●	●	●	●	●			●	●							
医療文化史学								●	●								
医療統計学											●						
医療倫理学												●					
歯科口腔科学													●				
臨床病理セミナー										●	●						

※黒文字は必修科目、青文字は選択科目  
※授業の開講時期は変更になることがあります。

# 臨床医学

## 高度な専門医学を統合的に受け止める能力を

昨今の臨床医学の進歩はめざましく、臨床医には高度に細分化された専門知識と技能が要求されています。また同時に、専門的な知識と技能を統合して受け止める能力を持った若者、つまり幅広い理解の下に臨床医学を駆使できる医師が求められているのも事実です。本学では、このような資質を持った医師の育成を目指して臨床医学の教育を進めています。さらに、附属病院が誇る世界トップレベルの最先端医療に触れることにより、医療の持つ無限の可能性を感じることでしょう。

## 生涯教育の一環として医学の深奥を

日進月歩の現代医学。その最新医療の内容はめまぐるしく変化しています。こうした背景を踏まえて、医師は自分自身で一生涯にわたり学習していかなければなりません。また、進歩・変化していく医学・医療を常に自身の中で更新していく能力を身につけなければなりません。このため、一般教養と基礎医学の知識を土台としたアップ・ツー・デートな臨床医学を卒前教育でしっかりと修得しておく必要があります。臨床医学の授業は、これまでに修得したあらゆる基礎科目を基盤に、生きた人間のさまざまな疾病の医学・医療の基本について、正しい理解と把握が得られるように進められています。さらに、医師としての人間性の育成にも重点を置いています。

## 患者と医師、学生と教員。人間同士の触れ合いの中で

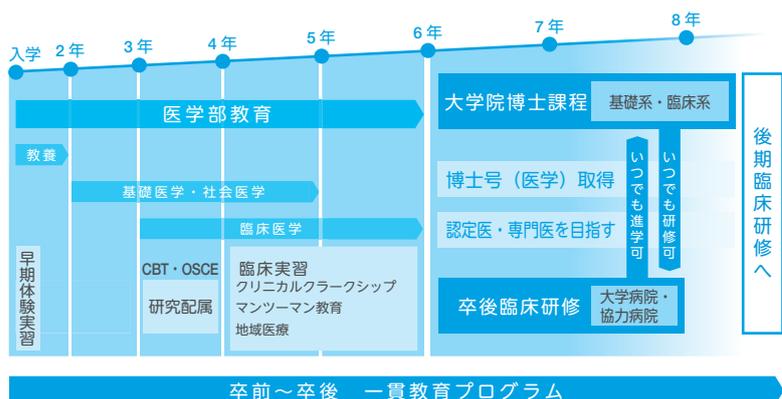
「一人の患者の診療から学べることは、経験豊かな医療者からの指導に勝る」と言われています。本学の伝統ある歴史の中で特に重点がおかれてきたことは、患者の身になって一例一例をじっくりと診、症例から学ぶという姿勢です。そして、学生自身の主体的、積極的な学習意欲を導き出そうという教育方針があります。実際、学生と教員との極めてフレンドリーな雰囲気の中で、学生たちがグループ学習で自主的かつ積極的に討論し、また、各診療科の教室にも気軽に出入りして研究に参加することも頻繁に行わ

れています。授業は単なる講義に偏らず、ベッドサイド・ティーチングや担当医とのマンツーマンによる教育も取り入れて、文字の羅列では表現できない医学の深奥に迫り、診断と治療のエッセンスを五感で体得する教育を進めています。こうした卒前教育における臨床医学教育の位置付けは大きく、社会貢献を目指す各医学生の素養がより確かなものとなるように導いています。



臨床実習の様子

### 【8年一貫教育プログラム】



# 卒業後について

## 卒業前後の医学教育及び研修

### 医師としての第一歩がスタートする臨床実習

CBT・OSCEの試験をパスした後、臨床実習が始まります。これは、医療現場を実際に経験するとともに、実地に各疾患の病態とその診断・治療を知るうえで非常に重要なものです。将来、臨床医はもちろんのこと研究者を目指す人にとっても、この臨床実習で得られる知識や技能は不可欠なものです。各班5名程度ですべての診療科や中央検査部門をローテーションしますが、各診療科や検査部門ではそれぞれ特色を持ったカリキュラムのもと、教員が個別に指導に当たります。少人数グループでの講義も行われますが、実際に外来やベッドサイドの患者を対象とした実習が主なものとなります。単に暗記した知識だけで対応するのではなく、問題解決型及び問題探求型の対応が求められます。また、医師が患者さんやご家族と如何に関わっていくべきかを初めて知る場でもあります。医師としての第一歩が既にこの実習から始まっているのだという自覚を持って現場に臨んで下さい。なお、この臨床実習の一部は、医師不足地域も含めた本学の教育関連病院でも行われます。各病院の部長は、本学の臨床教授や臨床准教授を兼ねており、ここでは大学病院とはまた異なる臨床場面を経験することができます。このように大学だけでなく、教育関連病院も一丸となって有機的な臨床実習が行われています。

### 国家試験の後、スーパーローテーションと呼ばれる臨床研修へ

最終学年の秋から、臨床科目の卒業試験が始まります。この関門を経た後に卒業し、医師国家試験を受験することになります。平成16年4月からは医師臨床研修が必修化されていますので、医師国家試験に合格後、臨床研修指定病院での2年間の臨床研修が義務付けられています。このシステムは将来の進路に関わらず、内科、外科、救急科などの基本的な診療科で研修しますので、スーパーローテーションと呼ばれています。本学では日本で最大規模を誇る関連研修指定病院と連携を保ちつつ、2年間の臨床研修を行います。この研修が終了した後に、専門の科目を専攻し、それぞれの科における専門医及び医学研究者を目指すこととなります。

このように、すぐれた医師になるには、教養・基礎・臨床課程における教育と卒後研修という長い道程を経なければなりません。それだけやりがいのある道程であるとも言えます。卒業前後の期間は時間に追われる極めて多忙な日々になりますが、単に知識や技能だけを修得するのではなく、豊かな教養を身につけるように務めることと人間性を磨くことを忘れないで下さい。

## 卒業後の進路

### 本学の卒業生の一般的な卒業後の進路状況

卒業後医師国家試験に合格すれば医師免許が交付され、それから晴れて医師としての経歴が始まることとなります。

まず研修医として働く場所は、本学附属病院、あるいは本学の協力病院である臨床研修指定病院で、どこで研修するかは、卒業前にマッチングで決定します。本学の臨床研修プログラムは日本で最も人気のあるプログラムの1つです。2年間のスーパーローテーション研修中に自分の進路を決め、専門領域の修練へと進みます。ある程度の臨床研修を終えてから医学研究を行うために大学院へ進学する人も多くいます。卒後の進路として臨床医ではなく、解剖学や生理学などの基礎医学や公衆衛生学や法医学などの社会医学の研究を志す場合には、卒業後すぐに大学院へ進学することもあります。

このように卒業後の2年間の進路はおおむね画一的ですが、3年目からは大学附属病院又は関連病院で医師としての専門的な修練が始まります。

各自が将来の明確な目標の下に進路を決めることが大切です。

### 【医師国家試験結果】

	受験者数	合格者数	合格率(%)	全国平均合格率(%)
平成24年	102	96	94.1	90.2
平成25年	110	101	91.8	89.8
平成26年	99	93	93.9	90.6
平成27年	106	103	97.2	91.2
平成28年	113	105	92.9	91.5



# 海外研修を受けた学生の声

## オクラホマ大学での臨床実習を経て



医学科 第6学年  
(京都府 洛星高校出身)  
澤田 凌

私は同じ学年の2人とともに、2015年7月の約1ヶ月、アメリカ オクラホマ州にある University of Oklahoma Health Science Center (OUHSC) にて実習をさせていただきました。このプログラムの存在は入学前から知っており、自分も参加したいとずっと思っていました。

私は Children's Hospital (小児科) に配属されたのですが、小児科のドクターはみな優しく、そして熱意を持って指導してくださいました。早朝から始まる日々の実習は、様々なレクチャー、症例のプレゼンテーションとその詳細なフィードバック、オンラインでの到達度確認テストなど非常に系統だった教育体制で構成されていました。現地の学生もそれに応えるように必死で勉強に励んでおり、彼らの積極的な姿勢にとっても刺激を受けました。たくさんの友人をつくることもでき、彼らが常に明るい笑顔で私たちを支えてくれたおかげで、充実した時間を過ごすことができました。実習1日目に戻りたい!今でもそう思うくらい楽しい日々でした。

京都府立医科大学には、このようにグローバルな視点を持つ機会を積極的にサポートしてくれる環境があります。お世話になった多くの方々へ感謝するとともに、この経験を過去のものとして、未来へ活かせるように努力していきたいと考えています。このパンフレットを読んでおられる皆さんも是非本学で学び、海外との交流を通して刺激を受け、自分の可能性を広げて下さい。



## リーズ大学への臨床留学を通して



今年度から本学では臨床留学先として米国のオクラホマ大学と英国のリーズ大学が選択できるようになりました。今日、日本では、かかりつけ医の普及や幅広く初期治療を行える医師の育成が促進されつつあります。戦後 GP 制度を確立してきた英国でプライマリ・ケアを学ぶことは貴重な経験になると考え、私は第5学年の7月に1か月間リーズ大学に臨床留学し、General Practitioner (GP) と呼ばれる家庭医の元で学びました。

実習は、多職種の医療関係者から学ぶ機会が設けられていたことと、地域に密着した医療が印象的でした。病院での診療以外に、医師や看護師の往診に同行する機会が多くありました。私も積極的に診察させてもらいましたが、英語も手つきもおぼつかなかった私にも、現地の患者さんは非常に協力的に接して下さることが多く、家庭医への信頼の高さを感じました。英国と日本はどちらも先進国であり、行う医療そのものに大きな違いはありません。しかし、その医療は全く異なる制度の下で行われており、特に今回は地域医療の在り様に大きく違いを感じ、日本の医療の長所や課題について考えるきっかけとなりました。

またリーズ大学は世界各国から多くの留学生を受け入れています。エジプト人やインド人、南アフリカ人など、私も多くの国の人々とスポーツや食事を通じて交流し、様々な文化や考え方に接することができました。

留学には不安もありましたが、同時に他文化を知る驚きと楽しさ、自分の思いを英語でなかなか伝えられないもどかしさと、それでも日々少しずつ上達していく嬉しさなど、様々な思いが錯綜する中で生活でした。将来、海外での活躍を考えている方は勿論、そうでない方でも、留学は多くの刺激を受け、視野を広げることが出来る良い機会です。皆さんが学生時代に留学に挑戦し、大きく成長され、良き医療人として活躍されることを願っています。



医学科 第6学年  
(大阪府 四天王寺高校出身)  
阪井 貴美子

# 在学生の声

## 医学科 第1学年 東城 悟恵 (京都府・立命館高等学校出身)

第一学年は下鴨キャンパスにある稲盛記念会館にて講義を受けます。校舎は新しく、非常に綺麗です。講義は本学のものだけでなく、京都府立大学、京都工芸繊維大学との三大学合同講義もあり、他大学の人と話をしたりして、様々な刺激を受けることができます。また、本学は部活動も非常に活発で、どの部活も精力的に活動しています。

とても良い環境で、レベルの高い仲間たちと毎日過ごすことで将来の基礎を作ることができると感じており、本学に入学できたことを嬉しく思います。皆さんと一緒に学生生活を過ごせる日を楽しみにしています。

### 【時間割】

	月	火	水	木	金
1限	倫理学		医療と法	生物科学	生命物理化学
2限	英語 2	数学	フランス語	生体分子化学	経済学
3限	医史学	物理 / 生物 / 化学実習	物理 / 生物 / 化学実習	英語 1	物理学
4限	リベラルアーツセミナー			体育	総合講義

所属クラブ：硬式テニス



## 医学科 第2学年 嶋崎 太志 (福井県・藤島高等学校出身)

第二学年に進級すると、基礎医学の講義が始まります。基礎医学の講義では、緻密に制御された生命現象のメカニズムや機能を座学で学んだり、人体の形態を実習で学んだりします。毎回の講義は内容がとても濃くペースも早いですが、最先端の医学に触れることができとても充実しています。

本学には「国際認証型新カリキュラム」が導入され、国際的に役立つ医療従事者になるための環境が整えられています。皆さんが入学され、この恵まれた環境でともに学ぶことを心待ちにしています。

### 【時間割】

	月	火	水	木	金
1限	感染病態学	総合講義	病理学	薬理学	免疫学
2限					
3限	免疫学	感染病態学	病理学	病理学	病理学
4限					

所属クラブ：軽音楽部



## 医学科第3学年 山口 祐平 (愛知県・東海高等学校出身)

基礎医学の講義も大詰めを迎え、秋からは臨床医学の講義が始まります。今学期の中心科目である病理学は、第2学年で学んだ解剖学や生理学をもとに疾病の発生機序を追求する学問であり、本格的な内容です。

講義を担当される先生方は学生と積極的に関わり、議論の場を設けてくださるため、毎日新しい発見があります。本学でのひとつひとつの経験が、卒業後医師として働く上で貴重な財産になるでしょう。

### 【時間割】

	月	火	水	木	金
1限	感染病態学	薬理学	免疫学	医学英語	薬理学
2限					
3限	病理学	病理学	病理学	病理学	病理学
4限					

所属クラブ：医学科茶道部



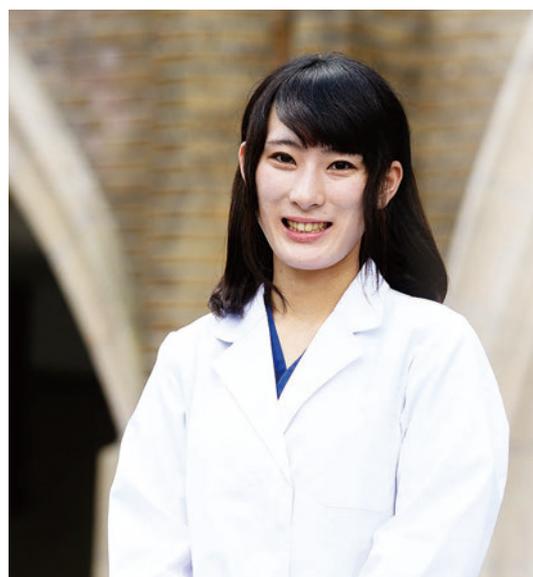
## 医学科 第4学年 服部 翔太 (京都府・京都学園高等学校出身)

第3学年後半から、社会医学と臨床医学の講義が始まります。社会医学では公衆衛生や法医学など、臨床以外の医師の社会的役割について学びます。臨床医学では内科、外科などを中心とした全ての診療科の系統講義があり、疾患の診断から治療までを学びます。その基盤となるのはこれまで学んできた基礎医学であり、実験室で得られる分子レベルの知見を実際の臨床にどう応用するかが焦点となります。先生方の多くは、日々の診察や治療の合間を縫って講義をしてくださるので、実際に行われている最新の治療や現場の雰囲気を知ることができます。

### 【時間割】

	月	火	水	木	金
1限	内分泌・免疫内科	法医学	法医学	予防医学	法医学
2限	小児科	リハビリ	小児科	公衆衛生	臨床検査
3限	血液内科	神経内科	リハビリ	内分泌・免疫内科	総合講義
4限	産婦人科	消化器外科	循環器内科	産婦人科	

所属クラブ：ESS、茶道部



## 医学科 第5学年 河原崎 萌 (京都府・京都女子高等学校出身)

第4学年までの臨床医学講義での学習を終え、第5学年からは病院実習が始まりました。病院実習では全ての診療科を2週間ごとに回っていきます。講義で学んだ知識を臨床の現場で実際に目にするのはとても興味深く、教科書だけでは分からないことも学ぶことができます。また、今までと最も違うのは病院で患者さんと実際に触れ合う機会があるということです。医師になるという自覚も一層高まり、1年という限られた時間の実習の中でより多くを学ぶために日々を過ごしています。

### 【時間割】

	月	火	水	木	金
AM	症例検討会	手術見学	外来見学	外来見学・退院診察実習	担当患者のサマリー
PM	教授回診・医局会参加	臨床講義	臨床講義	基本手技実習	臨床講義

## 医学科 第6学年 石上 真由子 (京都府・同志社高等学校出身)

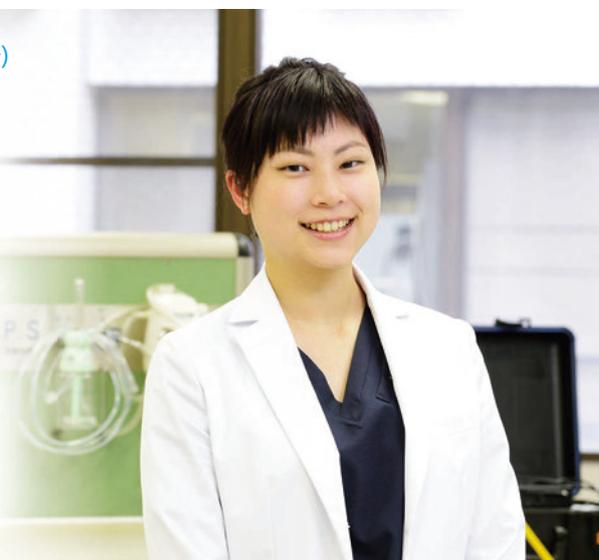
医学の勉強だけではなく、学外での活動も支援してもらえるというのは本学の魅力の一つではないかと思います。長くも限りある学生生活、沢山の先輩後輩や先生方に支えられながら、学業と大好きなことに没頭できたこの6年間はととても幸せでした。そして将来医師として働き始めた時、この経験は私の人生の大きな糧となることと信じています。

本学に入学される皆さんが、充実した学生生活を送られ、夢に向かって邁進されることを願っています。

### 【時間割】

	月	火	水	木	金
AM	症例検討会・回診	手術見学	新患外来実習	手術見学	外来実習
PM	マイクロ実習 症例検討会	手術見学 ミニレクチャー	術後管理 症例検討会	手術見学 病棟実習	術後管理 ミニレクチャー

課外活動：ヴァイオリニストとして活動中



# 卒業生の声

## 誇らしき哉、わが母校

私が京都府立医科大学を常々誇らしく思うのは、その創立以来一度も中断することなく続いた歴史が144年にも及び、これが東京大学医学部創立に遅れること僅か3年で創立された医学教育機関として、本邦第二位であり、卒業生の数もそれに比例して多いというような物理的な数値だけを意識しているわけではありません。私は、母校の卒業生が実に多彩な分野で活躍しているということを最も誇らしく思っているのです。国内だけでなくアメリカやドイツなどの有名な大学で傑出した活躍をしている教授や研究者たちもおれば、臨床家でありながら岩波文庫で近代詩集を残した詩人、映画監督として一流になった人、作曲家兼演奏家として一世を風靡したのち医系の大学教授になった人など、わが母校がいかにリベラルな人間らしい教育をしてきたか、如実に証明していると思っています。当然でしょうが、臨床医師として京都府を中心に活躍している人の数は一番多く、この意味で母校が地域医療に貢献している程度は、全国の医系大学では最高であることに間違いはありません。一方、看護学科も実は、明治22年、日本政府公認の産婆教習所の開設以前に、明治5年から療病院で、ドイツ人医師ヨンケルが看護師（助産師を含めて）の教育を始めており、これは疑いもなく日本で最初の洋式看護学教育の始まりを告げるものでした。私が母校、京都府立医科大学を卒業したのは昭和30年でしたから今年で満60年になりますが、私が直接目撃してきた母校の発展振りに、毎日、大きな誇りを感じているこの頃であります。



ルイ・パストゥール医学研究センター  
分子免疫研究所 所長 本学元学長  
昭和52年朝日賞、平成2年島津賞、平成8年紫綬褒章

藤田 哲也 ■ 昭和30年卒業

## 京都府立医科大学の善き伝統 — 世界への目線とチャレンジ精神



奈良県立医科大学 第一解剖学講座 教授

西 真弓 ■ 平成3年卒業

私は卒業後麻酔科で研修を受け、3年目より大学院へ進学しました。麻酔を通して神経科学に強く興味を持ちはじめたことから、当時の第一解剖学（現生体構造科学）の河田研究室で基礎研究を開始しました。大学院在学中には2年間アメリカへ留学。帰国後は本格的に研究者を志すことに決め、第一解剖学教室のスタッフとして採用していただきました。以後、伝統ある京都府立医科大学第一解剖学教室において、時代の先端をいく最新の手法を駆使しながら、常に新たなコンセプトで研究にチャレンジし、世界の一線級の目線で研究を続けるという、世界を意識した研究態度を学びました。また、医学教育者としては、講義は常に最高の内容を提供すべく、勉強を怠らず、情熱と誠意をもって学生に接する真摯な姿勢を叩き込まれました。京都府立医科大学で学んだこれらのことは、私の大きな財産であり、平成21年8月より奈良県立医科大学に着任してからの教室運営のさまざまなシーンで活かされています。

現在の研究室では、神経内分泌系の視床下部—下垂体—副腎系を基軸に、幼少期のストレスが脳に及ぼす影響の分子基盤、細胞外マトリックスと脳の可塑性の研究を中心に据えています。

医学の基礎研究における発見は、忍耐強く積み重ねられた努力の結晶です。発見した時の喜びは格別なもので、まさに心躍る瞬間です。そうした新たな発見を目指して、活発な議論を交わし、知的興奮を分かち合いながら研究成果を世界に発信し、共に研究していく、そういう熱い仲間を求めています。気軽に声をかけ下さい。

## 京都府立医科大学を卒業して

4年間の大学院生活を終えようとしていた冬のある日、厚生労働省行きが決まりました。部署は医政局研究開発振興課、医薬品や医療機器の研究開発を担っている部署です。その中の再生医療推進室に専門官として期限付きで赴任しました。

当初は「ヒト幹細胞臨床研究に関する指針」に則って研究者から申請された研究計画を、審査委員の先生方の意見を反映させながら、基準にそった計画へと申請者と共に作り上げる仕事をしました。その後、iPS細胞研究を含む再生医療が今後発展していけるよう体制づくりをするための、再生医療新法案を作り上げる業務もスタートし、まさに日本における再生医療転機の現場で動かさせていただきました。

2013年11月に帰学して、本学に設立された研究開発・質管理向上統合センターの立ち上げに携わらせていただいております。大学全体として、研究倫理や利益相反等について、研究者一人ひとりの意識を高める取組を行うと同時に、基礎研究から臨床研究・治験さらには製造販売後臨床研究まで幅広く研究活動を支援することで、研究活動の倫理性及び科学性を担保する体制整備を進めており、このセンターはその核となることを期待されております。

これらの仕事には、行政の知識に加えて倫理的思考も求められ、基礎研究と臨床医学との経験の裏打ちを必要とします。花園キャンパス（現在は下鴨キャンパスへ移転）で医療人として必要な一般教養を学び、河原町キャンパスの医学教育で医師としての礎を学んだ京都府立医科大学での経験が、まさに今の私を支えてくれています。卒業後も多様な進路があり、世界レベルの研究と臨床を様々な比重で体得していけます。当大学に入学する皆さんには、学ぶ喜びを感じながら成長し、バランスのとれた医療人として羽ばたかれる事を願っております。



本学大学院 医学研究科 医療フロンティア展開学 講師

今井 浩二郎 | 平成 13 年卒業

## 京都府立医科大学を卒業して

将来への夢や希望に胸を膨らませて本学に入学したあの日から早くも6年が経ちました。私が本学に入学したいと思ったのは、オープンキャンパスで本学のアットホームな雰囲気に着かれたからでした。

実際に入学してみると、同級生だけでなく、先生方、先輩、後輩などとの距離が非常に近く、たいへん過ごしやすい大学でした。各分野の最前線で活躍されている先生方から直接御指導いただくことができました。また、学びたいと感じたことについて学習の機会を作ってくださいたり、学習環境の整備に尽力してくださいたりと、望めば望むほど学ぶことができる環境でした。

本学は部活動等の課外活動も非常に盛んで、学習以外の面でも大変充実した学生生活を送ることができます。部活動に打ち込んだ日々は、学生時代にしかできないかけがえのない思い出となっています。そのような活動の中で出会った先輩、後輩とは、卒業した今でも交流があり、将来のことを語り合ったり相談したりと、大きな心の支えとなっています。

現在、私は京都第一赤十字病院で初期研修医として働いています。まだまだ駆け出しではありますが、本学で過ごした6年間で得た知識や人との出会いは、働く上での糧となっています。

皆様が本学で学び、良き医療人となられて、共に働くことができる日が来ることを心待ちにしております。



京都第一赤十字病院 研修医

大松 志穂 | 平成 28 年卒業

# 看護学科

School of Nursing

## ● カリキュラム概要

基礎・教養科目、専門基礎科目、専門科目

## ● 保健師・助産師資格取得について

## ● 卒業後について

卒業後の進路、国家試験結果

## ● 在学生の声

## ● 卒業生の声

## 看護学科の目指す教育

看護学は19世紀半ばにおけるF.ナイチンゲールの活躍に端を発する長い歴史があります。わが国においては、明治時代の初めに看護婦が誕生して以来、社会の変動や政策的な波の中で大きく揺れ動いてきましたが、今、まさに看護学が注目される時代になりました。その背景には、少子高齢社会の到来による保健・医療・福祉サービスの変化、高度医療の発展に伴う医療体制の複雑化や倫理的側面への問いかけ、そして自己決定医療への変化など、いわゆるCure（キュア）だけでなくCare（ケア）の重要性が認識されるようになってきたことがあげられます。そういう意味で、このケアの追及を学問領域とする看護学は、いわば21世紀の学問だといえます。

本学の看護教育の歴史は長く、1889年（明治22年）の附属産婆教習所の開設から127年を迎え、9,000人以上に及ぶ卒業生を輩出し、京都府をはじめ全国において看護の発展に寄与してきました。この歴史の中で培われてきた心と技術と知識のバランスのとれた看護職者を育成する伝統は、看護学科にも継承されています。本看護学科は、このような時代の流れに沿って、2002年（平成14年）、医学部に設置され、以下に示す看護実践能力を育てるための看護学教育を目指しています。

### 1) 豊かな人間性を備え、全人的な看護を展開できること

看護学は人間をまるごと対象とするため、人間をどれだけ理解できるかが重要な鍵となります。そのために、豊かな教養と人間性を備え、奥深い専門的知識や技術など幅広い視野と洞察力をもって人間を全体的・統合的に捉え、倫理観をもって全人的な看護を展開することのできる能力を育成することを目指しています。

### 2) 科学的思考に基づいた判断能力を育て、主体的に看護が実践できること

看護学は実践の科学です。そのために、専門的に必要な技術・知識・態度はもとより、科学的思考に基づいた判断能力や問題解決能力を育て、主体的・創造的に看護が実践できる能力を育成することを目指しています。

### 3) 保健・医療・福祉の連携を図れる看護が実践できること

現代社会での看護ニーズは拡大する一方ですが、それに対応できるように、保健・医療・福祉の連携や調整、協調を図れる看護が実践できる能力を育成することを目指しています。

### 4) 国際的な視野で健康問題を捉えて看護を考えられること

国際化の進む中で、豊かな国際感覚、高いコミュニケーション能力を持ち、国際的な視野で健康問題を捉えて看護を考えられる能力を育成することを目指しています。

長寿社会を迎えて変貌する地域社会では、看護の質がますます問われる時代になってきています。将来に向けて看護を学び続ける意欲と姿勢を持った自立できる人材の育成を目指して、私たちは学生の皆さんと共に努力を重ねていきたいと思っています。



# カリキュラム概要

## Curriculum

127年もの歴史の中で、多くの優秀な人材を輩出し、日本における看護の発展に寄与してきた本学看護学科。

京都御所の東、鴨川にもほど近い自然に恵まれた環境で、豊かな人間性を養うとともに、看護学への高い志を育んでいきます。

### 心・技術・知識のバランスのとれた看護の専門職をめざし、看護学の理念にもとづく理論と実践を展開

看護学科では、豊かな人間性と創造性を育む幅広い教養教育を基盤に、益々発展していく保健・医療・福祉の分野に対応できる高度な専門知識と技術を備え、心と技術と知識のバランスのとれた看護の実践家及び看護教育・学術研究並びにマネジメントができる看護職者を育成するためのカリキュラムを展開しています。

看護学は実践の科学であり、その理論と実践を科学的に学ぶ必要があることから、講義で理論を学び、学内の演習や臨地実習で実践する学習を積み重ねていきます。

## 6つの教育目標

- ①生命及び人間の尊厳の理解に基づく高い倫理観の形成、人間性及び環境への深い洞察力を養う。
- ②看護の専門職として必要な知識・技術・態度を養うとともに、あらゆる看護の場において主体的に看護が実践できる能力を養う。
- ③人間性と科学的思考に基づいた判断力、問題解決能力を養う。
- ④様々なライフステージにおける看護ニーズに応えられるよう、保健・医療・福祉との連携・協調・調整を図る能力を養う。
- ⑤国際理解とコミュニケーション能力を基にして、グローバルな視野で健康問題を理解し、看護活動ができる能力を養う。
- ⑥社会の変化に対応して看護を発展させていくため、自ら課題を探究し、研究していくことができる基礎的能力を養う。

## 教育目標を達成するための3つの分野を系統的に習得

「基礎・教養科目」…看護の対象である人間について多面的に理解し、人間性の形成を目指す

「専門基礎科目」…看護学を支持し、関連する領域の専門的知識を養う

「専門科目」…看護学に関わる専門的な理論と技術の習得を目指す

区 分		概 要
基礎・教養科目	生命及び人間の尊厳	医療の基本である生命及び人間の尊厳について学びます。
	人間の理解	非合理的な考え方に支配されない、科学的・合理的な人間理解を目標に学習します。
	人間と環境Ⅰ	人間と、人間をとりまく環境との関係を学習します。
	人間と環境Ⅱ	
	国際理解とコミュニケーション	国際情勢を理解すると共に、外国語によるコミュニケーション能力を身につけます。
専門基礎科目	健康・疾病・障害の基礎	看護学に必要な人体の構造や生命維持の仕組み、疾病の成り立ちと回復の促進、成長発達のプロセスを学び、人体を系統立てて理解し、健康・疾病・障害に関する観察力、判断力を習得します。
	保健・福祉	人々が生涯を通じて、健康や障害の状態に応じて社会資源を活用できるように必要な知識と基礎的な能力を養います。
専門科目	看護学の基本	看護学の基本となる知識、技術、態度について学びます。
	看護学の展開(理論と実践)	各看護学の領域別に理論と実践方法について学びます。また、対象者及びその家族の理解のための理論や枠組み、患者教育や退院指導に必要なセルフケア能力を高める支援について学習します。
	看護学の統合と発展	既習の知識と技術を統合させると共に、看護学に係る研究能力の涵養と、より高度な知識と技術の習得を目指します。
	地域看護学	【選択制】保健師に求められる専門的機能と社会の要請に対応できる実践能力について理解し、学習を深めます。
	助産学	【選択制】助産師としての責務や役割を理解し、助産診断能力や、生と生殖に関わる健康課題への支援ができる能力を習得します。

※黒文字は必修科目、青文字は選択科目

※上記は平成28年度入学生向けのものであり、変更になることがあります。

## 他大学との連携授業

- 三大学共同化科目…本学では、京都府立大学、京都工芸繊維大学と、教養教育の共同化を行っており、共同化科目を履修することができます。→詳しくは 27 ページを参照してください。
- (公財) 大学コンソーシアム京都を活用して、京都にある他の大学の単位互換授業を受けることができます。

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
総合講義	生命倫理						
人権論							
哲学							
心の科学	文芸創作論						
健康スポーツ科学	健康スポーツ科学演習						
音楽							
発達心理学							
法律と社会	生活と経済						
教育の基礎	環境論						
情報科学	社会とは何か						
生物学的人間論	医療社会史						
物理学	宗教と文化						
	生命有機化学						
英語 I A	英語 I B	英語 II A	英語 II B				
中国語 I	中国語 II	英会話 I	英会話 II				
ドイツ語 I	ドイツ語 II		国際情勢の理解				
フランス語 I	フランス語 II						
人体機能構造論 I	人体機能構造論 II	薬理学	病態・疾病論 II (精神・運動器)	成長発達論			
生化学	病理学	感染免疫学	病態・疾病論 IV (臨床腫瘍)				
栄養学	人間看護工学	病態・疾病論 I (成人急性期)	病態・疾病論 V (小児)				
		病態・疾病論 II (成人慢性期)	病態・疾病論 VI (老年)				
		生殖健康論	臨床遺伝学				
			医療情報学	疫学			
			看護と法律	公衆衛生学			
				社会福祉学			
				カウンセリング論			
				家族社会学			
				医療と経営			
看護基礎理論	看護人間論	治療援助論	看護方法論				
生活援助論 I	生活援助論 II	ヘルスアセスメント	基礎看護学実習 II	基礎看護学実習では本学附属病院で基礎的な臨地実習を行います。			
	基礎看護学実習 I						
成人看護学	成人看護学概論	成人急性期看護援助論 I	成人急性期看護援助論 II・III		成人急性期看護学実習		
		成人慢性期看護援助論 I	成人慢性期看護援助論 II		成人慢性期看護学実習		
精神看護学	精神保健	精神看護学概論	精神看護援助論 I	精神看護援助論 II	精神看護学実習		
小児看護学	小児看護学概論	小児看護学援助論 I	小児看護援助論 II・III		小児看護学実習		
母性看護学	母性看護学概論	母性看護援助論 I・II			母性看護学実習		
老年看護学	老年看護学概論	老年看護援助論 I	老年看護援助論 II・III		老年看護学実習		
在宅看護		在宅看護論 I	在宅看護論 II		在宅看護実習		
		地域看護学概論	健康教育論	がん看護援助論			
				研究方法論 I	研究方法論 II	研究方法論 III	
				看護マネジメント論	看護の統合と実践 II (実習)	看護の統合と実践 I (演習)	
				国際看護・国際保健		国際看護英語	
				地域精神看護論		看護教育論	
				公衆衛生看護行政論	地域の医療を支える基幹病院等において、実際に地域に滞在して、地域医療の実際を理解すると共に、チームの一員として実習を行います。	看護倫理	
				家族相談援助論		災害看護論	
				地域看護活動論 I・II		発達援助論	
						高齢者健康論	
						地域保健活動展開論	
保健師国家試験受験資格希望者は履修が必要です。 ただし、履修者は、3年次に上がる段階で、希望者の中から選考により決定します。(20名以内)				地域看護診断学 I・II	地域看護学演習		
助産師国家試験受験資格希望者は履修が必要です。 ただし、履修者は、3年次に上がる段階で、希望者の中から選考により決定します。(10名程度)				助産学基礎理論	周産期病態生理学 II	助産診断・技術学 III・IV	親役割援助論
				助産マネジメント論	助産診断・技術学 I・II	助産学実習 I・II・III	
				ウィメンズヘルス論			
				周産期病態生理学 I			



看護学の実践を学ぶために3年次後期から4年次前期に、本学附属病院や京都府内の医療機関、介護老人福祉施設、訪問看護ステーションなど、様々な看護の場での臨地実習を実施します。

地域の医療を支える基幹病院等において、実際に地域に滞在して、地域医療の実際を理解すると共に、チームの一員として実習を行います。

# 保健師・助産師資格取得について

看護師に加えて、保健師・助産師を目指す人は、地域看護学・助産学の選択科目を履修することができます。ただし、履修者は、3年次に上がる段階で、希望者の中から選考により決定します。(保健師20名以内、助産師10名程度)

## 保健師コース 地域看護学選択

### 【保健師とは】

保健師の働く場所は、都道府県や市町村といった行政機関、学校や産業等の種類があります。保健師は、地域で暮らす様々な年代や健康状態の人々を対象に、健康を守る役割を担っています。妊婦教室や乳幼児健康診査、高齢者の介護予防、障害者の保健指導、保健計画の策定など、その活動範囲はとても幅広くバラエティに富んでいます。

### 【本学の保健師教育】

本学の保健師養成課程は1951年に始まり、現在に至るまで京都府内を中心に多くの先輩を輩出しています。本学では、地域で暮らす個人・家族・集団を「見る」そして「動かす」ちからを大切に育てています。講義科目と現地実習を連動させた学習体系の中で、学生は保健師に求められる知識と実践能力を学びます。



## 助産師コース 助産学選択

本学の助産師教育は1889年京都府医学校に附属産婆教習所が設置されてから127年の歴史があります。

助産師を目指す学生は、2年後期に履修申請を行い、3年前期から選択履修します。講義では、医学的な安全性に加え快適さや、女性が本来持っている産み育てる「力」を最大限に発揮できる為の助産ケアを学びます。そして、



一人の女性を妊娠中から、分娩そして産後1か月まで継続的に受け持つ実習、分娩介助を中心とした実習を行い、学びを深めます。

少子化、産科医師不足といった現在の社会情勢から助産師には自立して妊娠、分娩、産褥までの一貫したケアを行う能力が求められています。そのニーズに応えるため、責任をもち安全で質の高いケアを提供できる助産師を育成するよう努めています。

# 卒業後について

## 卒業後の進路

地域の医療機関や施設において、看護師として従事するほか、保健師、助産師として活躍する道も

卒業に必要な単位を取得することで、看護学士の学位、看護師国家試験の受験資格、また科目の選択により、保健師又は助産師国家試験の受験資格が得られます。

### 取得できる資格

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格(地域看護学履修者)
- 助産師国家試験受験資格(助産学履修者)
- 受胎調節実地指導員申請資格(助産学履修者)
- 養護教諭二種免許

保健師免許取得後、在学中に所定科目(※)を修得した者は申請すれば取得可能。

※教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

### 【看護師国家試験結果】

	受験者数	合格者数	合格率(%)	全国平均合格率(%)
平成26年	78	78	100.0	89.8
平成27年	84	83	98.8	90.0
平成28年	89	89	100.0	94.9

### 【保健師国家試験結果】

	受験者数	合格者数	合格率(%)	全国平均合格率(%)
平成26年	78	78	100.0	86.5
平成27年	84	84	100.0	99.4
平成28年	26	26	100.0	92.6

### 【助産師国家試験結果】

	受験者数	合格者数	合格率(%)	全国平均合格率(%)
平成26年	10	10	100.0	96.9
平成27年	9	9	100.0	99.9
平成28年	10	10	100.0	99.8

## 卒業後の活躍のフィールド

皆さんの将来に多様な活躍の場が開けます



# 在学生の声

## 看護学科 第1学年 原田 加奈 (大阪府・金蘭千里高等学校出身)

入学してあっという間に数ヶ月が経ちました。優しい先輩方や目標を共にする仲間のおかげで充実した毎日を送っています。部活動も盛んで、学科の枠を超えてたくさん友人ができます。また本学は附属病院があるので、普段から具体的に将来像を描くことができ、学びへのモチベーションアップにつながります。患者さんの心に添える看護師になるために、これから多くのことを吸収していきたいです。皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

### 【時間割】

	月	火	水	木	金
1限	生命倫理	健康スポーツ科学	総合講義	人体構造機能論Ⅰ	ドイツ語Ⅰ
2限	環境論		看護基礎理論	心の化学	フランス語Ⅰ
3限	三大学(京都府立医科大学・京都府立大学・京都工業繊維大学) 共同化科目 ※P27、P28参照	英語ⅠA	生化学		情報科学
4限		栄養学	音楽	生活援助論Ⅰ	中国語Ⅰ
5限		人権論	法律と社会		総合講義

所属クラブ: ラグビー部



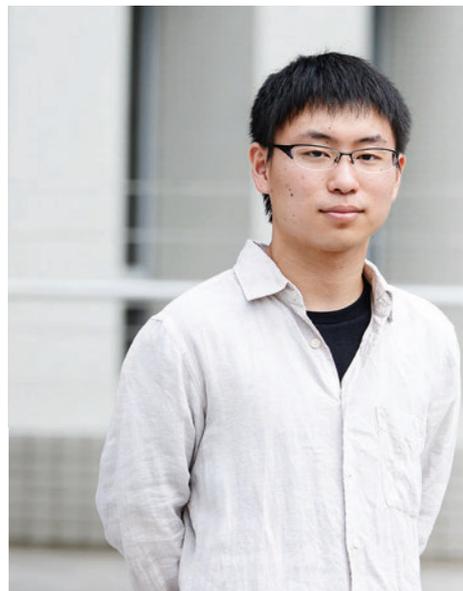
## 看護学科 第2学年 朝倉 朋也 (京都府・塔南高等学校出身)

入学して2年目となりました。1年前は周りが女性ばかりという環境で上手く馴染めるか不安も大きかったですが、実習やグループワークを通して絆を深め、今ではクラスの一員として受け入れて貰えたと感じます。男性からすれば少々特殊な環境ですが、自らの価値観を広げる意味でとても良い1年を過ごせました。今度はこの広がった価値観を持って、看護の現場における男性ならではの役割を見つけれられるよう勉強をしたいと思います。同じ志を持つ仲間が増えることを楽しみにしています。

### 【時間割】

	月	火	水	木	金
1限	ヘルスアセスメント	病態・疾病論Ⅱ			英会話Ⅰ
2限	病態・疾病論Ⅰ	母性看護援助Ⅰ	地域看護学概論	感染免疫学	病態・疾病論Ⅰ
3限	精神看護学概論	成人急性期援助Ⅰ	薬理学	母性看護援助Ⅱ	
4限	病態・疾病論Ⅰ		小児看護学概論	成人慢性期援助Ⅰ	
5限	病態・疾病論Ⅱ	治療援助論	生殖健康論		治療援助論

所属クラブ: 劇団明日の鳥



## 看護学科 第3学年 森田 祐 (大阪府・千里青雲高等学校出身)

入学して3年目となりました。第2学年の基礎実習においては患者様を受け持ちさせて頂きました。1人の患者様を理解するためには専門的知識や技術だけでなく、コミュニケーション能力や幅広い視野が必要であると感じました。私は産業保健師を志望しているため、第3学年からは地域看護学を履修しています。同学年の中でも看護師や保健師、助産師など地域の様々な分野で活躍したいと考えている仲間がいてとても心強いです。

### 【時間割】

	月	火	水	木	金
1限			研究方法論		精神看護援助論Ⅱ
2限	成長発達	家族相談援助論	老年看護援助論	国際看護学、国際保健	カウンセリング論
3限	疫学	小児看護援助論Ⅱ	在宅看護論	地域活動援助論	小児看護援助論Ⅲ
4限	地域看護診断学Ⅰ	がん看護援助論	地域精神看護論		老年看護援助論
5限		公衆衛生学	社会福祉学		

所属クラブ: 卓球部



## 看護学科 第4学年 中根 悠紗 (京都府・福知山高等学校出身)

第3学年後期からの領域別実習では、様々な患者様との関わりを通して、座学だけでは学べない多くの学びを得て、充実した実習となっています。また、同じ志を持った実習班の学生達と優しく、時に厳しく熱心に指導して下さる先生方がいることが実習における支えだけでなく深い学びにつながっていると思います。そして、本学は部活動も盛んで、医学科・看護学科の先輩・同期・後輩とのつながりは私にとって大きな財産になっています。皆さんも本学で有意義な学生生活を過ごしませんか。

【時間割：慢性看護学実習中】

	月	火	水	木	金
9:00～15:00	病棟実習(附属病院)ジョブシャドウイング(看護師とともに行動し、医療チームの連携や看護師の役割を学ぶ)指導看護師とのまとめ病棟カンファレンス	病棟実習(附属病院)受持患者様の看護を中心に様々な援助場面を見学・実施患者様とのコミュニケーション、情報収集、アセスメント、指導看護師とのまとめ	他病院での見学実習(実際の看護の場面の見学、患者様とのコミュニケーション、看護師などの講義、まとめのカンファレンス)	病棟実習(附属病院)受持患者様の看護を中心に様々な援助場面を見学・実施患者様とのコミュニケーション、情報収集、アセスメント、指導看護師とのまとめ	学内実習(実習記録作成など)、地域医療連携室見学実習(附属病院)(施設見学、地域医療連携室看護師の講義、事例検討、質疑応答、まとめ)症例検討会
15:00～17:00	実習記録作成	実習記録作成	実習記録作成(自宅)	実習記録作成	実習記録作成

所属クラブ：男子バレーボール部



## 看護学科 第4学年(地域看護学選択) 野々村 仁美 (京都府・紫野高等学校出身)

私は地域看護学を専攻しています。第3学年の後期から領域別の実習が始まり、病棟での実習を経験してきました。その中で、疾患の症状や障害を抱えた患者さんや、人工呼吸器などの医療機器が必要な患者さんが退院され、地域に帰って行かれる場面を見てきました。病棟看護師であっても、退院後の生活を見据え看護を行う必要があり、地域の視点が重要であると感じたとともに、それらの患者さんやその家族が地域で安心して生活していけるよう直接的にサポートする地域看護はやりがいのある仕事ではないかと感じています。

本学で地域看護を学び、幅広い視野を持った看護職を目指しませんか。

【時間割】(第3学年前期-地域看護学専攻の科目が始まります)

	月	火	水	木	金
1限	がん看護援助論	家族相談援助論	老年看護援助Ⅱ	公衆衛生学	地域看護活動論Ⅰ
2限	公衆衛生学	小児看護援助Ⅲ	小児看護援助Ⅲ	カウンセリング論	看護マネジメント論
3限	疫学	小児看護援助Ⅱ	成長発達論	在宅看護論Ⅱ	老年看護援助Ⅲ
4限	地域看護診断学Ⅰ	国際看護・国際保健	地域精神看護論	社会福祉学	精神看護援助論Ⅱ
5限					

所属クラブ：弓道部、劇団明日の鳥

地域看護学選択

## 看護学科 第4学年(助産学選択) 大槻 暢 (京都府・日吉ヶ丘高等学校出身) 竹村 奈津子 (大阪府・茨木高等学校出身)

私は助産学を履修しています。第3学年から看護学に加え、本格的に助産学の授業がスタートしました。助産学の授業は、少人数で行われ、意見交換や質問などがしやすい雰囲気となっています。自己学習も多く求められますが、先生方の熱心な指導のもと同じ志を持った仲間と助け合いながら、日々学びを深めています。

助産学専攻の学生は、同学年の横のつながりはもちろんのこと、先輩・後輩と縦のつながりも大切にしています。ぜひ皆さんも私たちと一緒に助産師を目指しませんか？

【時間割】(第3学年前期-助産学専攻の科目が始まります)

	月	火	水	木	金
1限	がん看護援助論		老年看護援助論Ⅱ	公衆衛生学	
2限	公衆衛生学		小児看護援助論Ⅲ	カウンセリング論	看護マネジメント論
3限	疫学	小児看護援助論Ⅱ	成長発達論	在宅看護論Ⅱ	老年看護援助論Ⅲ
4限	周産期病態生理学Ⅰ	国際看護・国際保健		周産期病態生理学Ⅰ	助産学
5限	助産学		社会福祉学	精神看護援助論Ⅱ	ウィメンズヘルス

所属クラブ：軽音楽部(大槻)

助産学選択



# 卒業生の声

## 様々な経験を活かし、看護部長として頑張っています

私が本学に入学したのは、前身である看護専門学校で1学年100名となった頃です。学生時代は、大変優秀な先生方の下、専門知識など多くのことを学びました。中でも臨床の第一線で活躍しておられる先生方に教えていただいたことは、その後とても役に立ちました。また本学は、クラブ活動なども活発でとても充実した学生生活を送ることができたと思います。

卒業後は、臨床以外にも母校での教鞭や京都府立与謝の海病院（現・本学附属北部医療センター）への出向などさまざまな部署に配属されました。高度な医療を受けられる患者様のケアや、後輩育成・看護管理などの経験を基に現在は、看護部長として豊かな人格と感受性を持った看護師を育成し、患者様に質の高い看護が提供できるよう看護部の職員と共に努力しています。また本院の看護部長として初めて副病院長を兼務することになり、病院経営など今まで以上に幅広い視野が必要になりましたが、今の私があるのは本学で学べたお陰ととても感謝しています。

看護学科の臨地実習の多くは本院で行われます。皆さんが入学され、本院に実習に来られる日を楽しみにしています。



本学附属病院 副病院長・看護部長

**小城 智圭子** ■ 京都府立医科大学附属看護専門学校  
昭和56年卒業

## 現在は二つめの母校に勤務しています

私は、前身のまた前身である京都府立医科大学附属看護学院の卒業生です。学生時代は学園紛争がようやく落ち着いたばかりで、入学式も卒業式もありませんでした。それでも卒業の日のささやかな茶話会では、これから看護師として働くのだと実感したものでした。

卒業後は附属病院で8年間勤務した後、附属看護専門学校で看護教育に携わるようになりました。この間の卒業生が今では附属病院を支える重要なメンバーとなられて活躍されています。当時の看護教育は専門学校教育が主流でしたが、いずれ大学化されるので自分自身の研鑽が必要と考え、働きながら佛敎大学を卒業し、看護系の大学院に進学しました。その後は、他大学の教員を経て、平成17年に母校府立医大に戻っていましたが、佛敎大学の看護学科が平成24年4月に開設されるのを機に退職し、現在は佛敎大学に勤務しています。

学生時代の先生方の言葉で今も心に残るのが、「看護職は患者の医療を支える両輪の1つである」というものです。医師と協働して患者さんの立場で考え、患者さんの代弁者となれるようにと学生時代に教えられたことは、その後の教員生活でも大切な軸となっています。看護は、普通なら経験し得ない他の人々の人生をケアを通して知り、一緒に悩み、そして健康を取り戻す喜びをともに体験できる魅力ある仕事です。自分自身を活かし、高めていける仕事として、成長される後輩が増えることを楽しみにしています。



佛敎大学保健医療技術学部看護学科 教授

**中川 雅子** ■ 京都府立医科大学附属看護学院  
昭和48年卒業

## 母校でのたくさんの経験を生かして頑張っています

私は母校である京都府立医科大学医療技術短期大学部看護学科を平成11年に卒業しました。

学生生活は学ぶことがたくさんあり実習など辛いこともありましたが、その中で出会うことのできた友人たちは本当に心の支えとなり、充実した3年間を過ごすことができました。

本学附属病院に就職後、耳鼻咽喉科病棟での経験を期に放射線療法看護について学びたいと思い、「がん放射線療法看護認定看護師」の資格を取得しました。放射線療法は様々な有害事象が出現する辛い治療ですが、少しでも苦痛を和らげ最後まで予定された治療を完遂できるように、病棟のスタッフたちと患者さんのケアを考えていくことにやりがいを感じています。

そんな看護の基本を母校ではたくさんの先生方や先輩たちから学ぶことができました。私は認定看護師として本学との人事交流で看護学科に講義に行く機会があり、初々しい学生の方たちを見ていると私も改めて看護師を目指していたころの気持ちを思い出すことができます。皆さんが本学に入学され、講義や実習でお会いできるのを楽しみにしています。



本学附属病院 A7号病舎 がん放射線療法看護認定看護師  
芦田 理恵 ■ 京都府立医科大学 医療技術短期大学部  
看護学科 平成11年卒業

## 「人として成長できた4年間」

平成28年3月に京都府立医科大学を卒業し、4月から助産師として働いています。まだまだ分からないことも多いですが、先輩方にサポートしていただきながら日々勉強に励んでいます。

大学で過ごした4年間は、沢山の講義や演習で忙しい毎日ではありましたが、非常に中身が濃く充実した時間でした。看護学を学び深めていくうちに、患者様の支えとなれる看護職になるため、自分自身が人としてどうあるべきかを考えさせられる機会も多くなりました。特に、約1年間にわたる臨地実習では、実際の患者様に看護を行う中で、自分の力不足に悩むこともありましたが、患者様の笑顔や、「ありがとう」という言葉がとても嬉しく、相手を思い、気持ちを尽くすことの大切さを学ぶことができました。4年間を通して、知識や技術の修得はもちろんのこと、人としても大きく成長できたのではないかと感じます。そしてそれは、先生方や実習先のスタッフの方々に恵まれ、同じ志を持つ仲間と助け合い頑張ってきたからこそ得られたものだと思います。大学生活での経験は、私にとって一生の財産となっています。

この大学は、充実した学生生活を送ることができる素晴らしい環境が整っています。皆さんがこの大学で新しい一歩を踏み出され、同じ看護職として歩む日が来ることを楽しみに待っています。



独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター  
西5病棟 助産師

前田 夢衣 ■ 平成28年卒業

# 特色ある教育

## 教養選択科目

平成26年度より京都府立医科大学、京都府立大学、京都工芸繊維大学の京都三大学による教養教育共同化がスタートし、医学科、看護学科ともに共同化科目の選択が可能になりました。

### 共同化の趣旨

- 三大学は個々には規模が小さく、各大学で提供できる科目には限りがあるため、各大学の強みと特徴を生かした科目を提供しあい、学生の科目選択の幅を広げ、学習意欲を一層高めること
- 文系、理工系、医学系の専門分野や将来の志望の異なる三大学の学生が授業で混在し、多様な視点や価値観を交流して、一緒に学ぶ学修空間を作り出すこと
- 学生間の交流や討論、共同学修が進むよう学生参加型の授業を広げていくこと



## 北部地域医療実習

地域を担う使命感をもった医療従事者を育成するために、医学科生と看護学科生の合同による地域滞在型の医療実習を本学附属北部医療センター、京都府北中部の基幹病院及び当該保健、福祉施設等で実施しています。





# 大学院

Graduate School

- 大学院医学研究科

医科学専攻(修士課程)、  
統合医科学専攻(博士課程)

- 大学院保健看護学研究科

保健看護学専攻(修士課程)

## 大学院医学研究科

「世界トップレベルの医学を地域へ」の理念のもと、大学院医学研究科博士課程では、豊かな人間性に裏づけられ、創造性に富んだ人材を育成し、最先端の医学・医療・生命科学の推進および人類の健康と福祉への貢献を目指します。

修士課程では、医学部以外の学部教育を受けた方を対象に、医科学分野の基礎知識修得と研究トレーニングの場を提供することによって、他学部で学んだ専門知識や技術を医学に関連する学際的研究分野の開拓に役立てようとする強い意欲と展望を持った人材の育成を目指します。

### 医科学専攻（修士課程）

#### 学びの意欲にあふれる他学部の卒業生を対象に 医科学の基礎的教育を体系的に提供

医科学専攻修士課程は、理学、薬学、工学など医学以外の大学の学部を卒業後、医科学に高い志向性をもち、大学院において更に研究を深めたいと願う学生に対して、医科学の基礎的教育を体系的に提供し、個々の特性を活かして医学研究の学際的展開を図りうる研究者、技術者や、ヘルスサイエンスの専門職として質の高い人材を育成することを目的としています。そして専攻や分野の別を越えて、研究マインドと優れた研究能力を備えた医療系人材の養成を目指しています。

#### それぞれの専門領域と医学研究との融合により、これからの 医科学分野をリードする研究者・技術者を育成

本修士課程の特色は、医学部の教員全体で体系的な教育システムを構築していることであり、理系教養教育、基礎医学、社会医学及び臨床医学全般を体系的に履修することができます。

具体的には、医科学概論、医科学研究法概論などの共通教育科目や、分子機能形態医科学特論、発達期医科学などの専門分野別の科目を履修します。

研究指導について、1年次には、研究指導教員が個々の大学院生の個性、適性に応じて研究テーマを設定し、2年次には、そのテーマを基盤として、習熟度に応じて応用性のある発展した研究テーマを設定・指導し、最終的に修士論文を完成させます。

医学隣接領域の背景を持つ学生が、本修士課程を通じて、出身領域と医科学を融合させ、これからの医科学分野をリードし得る優れた研究者、技術者や、ヘルスサイエンス分野の高度な専門職として羽ばたいてほしいと期待しています。

○定員…10名

○修業年限…2年

○学位…修士(医科学)





## 統合医科学専攻（博士課程）

先端医学研究者、高度先進医療人の養成をめざし、  
医学隣接領域の修士課程修了者にも門戸を開放

統合医科学専攻博士課程の修業年限は4年で、基本的には医学部、歯学部、6年制の薬学部・獣医学部卒業者、そして医科学修士を入学対象としていますが、薬学、農学、工学など医学隣接領域や、鍼灸、美術などの修士課程修了者にも入学の門戸を開けています。

本博士課程の目指すところは、先端医学研究者の育成と高度先進医療人の養成です。大学院生ごとの特性に合わせたきめ細かい研究指導を行うとともに、自由度の高い履修メニューを提供することで、高度かつ融合的な医科学研究の指導を行います。

専門特化された履修内容及び充実の研究指導体制により、  
国内外の研究機関で活躍する優れた研究者を輩出

統合医科学専攻の下には「総合コース」と「がんプロフェッショナル養成専門コース」があり、総合コースでは専門領域として、地域医療・社会医学分野、発達・成育医学分野、先端医療・ゲノム医学分野、生体情報・機能形態学分野、病態解析・制御医学分野、そして機能制御・再生医学分野の6分野が置かれ、それらに加えて、研究を進める上で基盤となる必修科目や選択科目から成る共通領域が配置されています。これらの科目を通じて、優れた人格と高度な専門性、そして自由な発想に基づく自律的な課題探求能力を養うことを目的としたカリキュラムを策定しています。

総合コースの大学院生は、原則として、初めの2年間は統合医科学概論、医学生命倫理学概論など共通領域に属する必修科目の講義を受けつつ、専門領域での研究指導を受け、その後、専門領



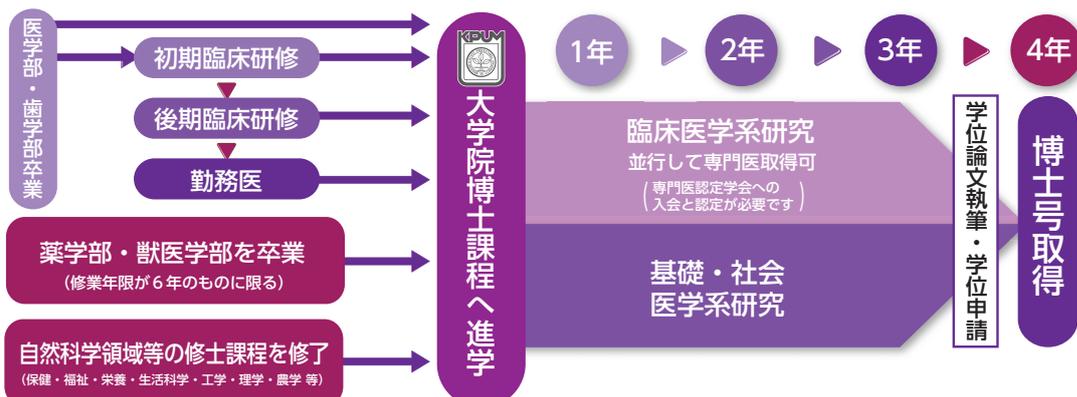
域での研究指導の成果として3年次から4年次にかけて博士論文を仕上げることとなります。

がんプロフェッショナル養成専門コースでは質の高いがん専門医の養成を目的として、実践的がん医療のための「腫瘍専門医育成コース」、「集学放射線診断治療専門医育成コース」、「包括的緩和医療専門医育成コース」の3コースが置かれ、がんに特化した基幹科目を履修し、がん診療の専門的教育を受けながら密度の高い大学院教育を受けることができる環境を提供しています。

本コースでは博士論文を仕上げるのと同時に、がん専門医の資格取得を目指します。

大学院での研究・教育生活の中で、さらに研究意欲をかき立てられ、多くの修了生は、大学教員や研究機関の研究者、また保健行政機関や関連病院などで専門的知識を生かして活躍しています。

○定員…70名 ○修業年限…4年 ○学位…博士（医学）



# 大学院保健看護学研究科

高齢化にともなって、医療や保健・看護の問題は複雑化・多様化しています。大学院保健看護学研究科（修士課程）では、人々が高度医療と質の高い看護を享受するために、保健看護学分野の理論と方法の構築をはかり、研究者・教育者および高度な専門性を持った看護職者の育成を目指しています。

## 保健看護学専攻（修士課程）

### 育成する能力と人材像

- 1 高度で専門的な知識と技術に裏付けられた看護実践力を身につけ、保健看護学の発展に貢献する意欲のある人
- 2 豊かな人間性を備え、生命の尊厳を守る高い倫理観を持つ人
- 3 自らの研究成果を国内外に発信しようとする人
- 4 不断の自己研鑽ができる人

### 教育課程の概要と研究領域

共通科目と専門科目から編成され、共通科目には専門科目を支える科目を配置しています。専門科目には、保健看護学教育・研究者や、高度看護実践指導者（がん専門看護師を含む）となるための科目を設定し、学生がそれぞれの希望進路に合わせて選択できるように配慮しています。

#### 【研究領域】

- |           |            |               |
|-----------|------------|---------------|
| ○保健看護情報科学 | ○老年・在宅看護学  | ○地域看護学        |
| ○女性生涯保健学  | ○母性看護学・助産学 | ○臨床健康科学・臨床腫瘍学 |
| ○看護倫理・管理学 | ○基礎看護学     | ○成人看護学        |
| ○精神看護学    | ○小児発達保健学   | ○小児看護学        |
| ○がん看護学    |            |               |

### がん看護専門看護師コース

専門看護師（CNS）とは、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識及び技術を深めた高度専門職者のことで、保健医療福祉や看護学の発展への貢献が期待されています。

本学では、2011年（平成23年）に、がん看護専門看護師コースを開設しており、本コースの修了者は、日本看護協会の認定審査を経て、がん看護専門看護師の資格を得ることができます。

- |               |          |
|---------------|----------|
| ○定員…8名        | ○修業年限…2年 |
| ○学位…修士（保健看護学） |          |



看護学学会と広小路門



# 研究活動

## 京都府立医科大学の研究分野におけるランキング

※( )内は前回の順位、大学数は平成27年度の数  
(出典 朝日新聞出版「2017年版大学ランキング」)

### 科学研究費補助金総額 (平成27年度)※教員1人当たり

金額	3,311 千円
全公立大学中 (86 大学)	1 位(1)
国公私立医科大学中 (26 大学)	2 位(3)
全大学中 (762 大学)	10 位(12)

### 外部資金 (平成26年度)※教員1人当たり

金額	3,485 千円
全公立大学中 (86 大学)	3 位(1)
国公私立医科大学中 (26 大学)	7 位(4)
全大学中 (762 大学)	44 位(12)

### 書誌・引用データベース 「Scopus」(掲載論文)

件数	5.58 件
全公立大学中 (86 大学)	4 位(6)
国公私立医科大学中 (26 大学)	7 位(2)
全大学中 (762 大学)	22 位(42)

### 共同研究

民間企業等から研究経費等を受け入れて、  
本学と共同で行う研究です。  
(平成27年度新規実績 24件/3810万円)

### 受託研究

民間企業等からの依頼に基づき、研究経費を受け入れて  
本学が研究、分析・評価及び調査等を行います。  
(平成27年度新規実績 26件/2094万円)

### 共同研究講座

産業界からのニーズに応えらるとともに、広く社会に貢献出来る研究  
テーマについて、民間企業等と本学の双方が知恵と技術を持ち寄り、  
共同してプロジェクトの拠点を形成することでイノベーション  
の創出を図ることを目的としています。

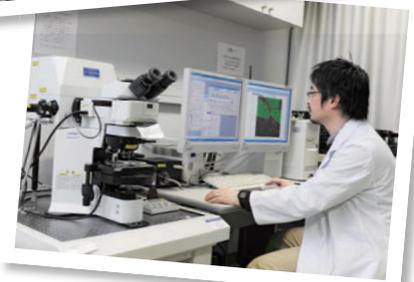
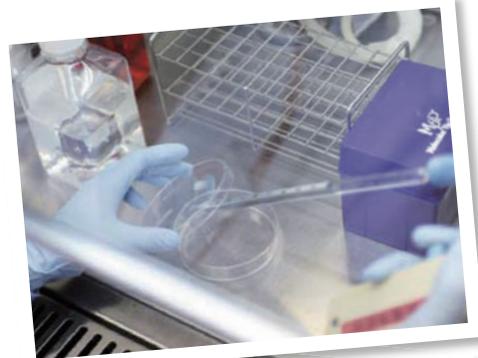
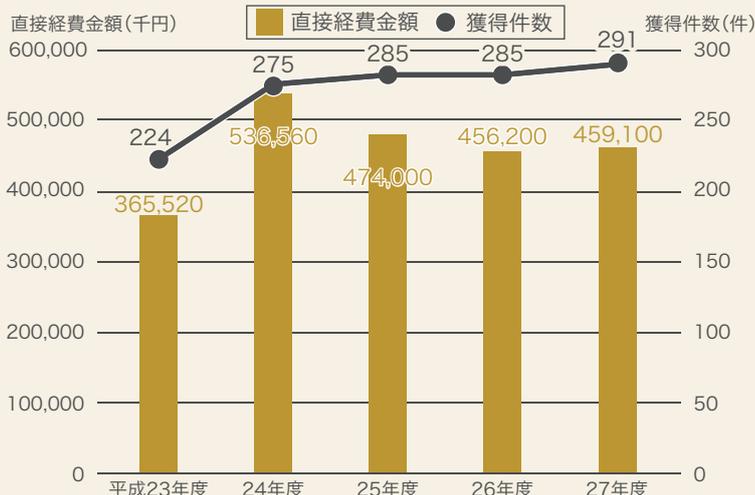
- 生体免疫制御学講座
- 生体食品機能学講座
- 先端検査機器開発講座
- 運動器時間制御学講座
- パイオバイオミクス講座
- がん免疫細胞制御学講座
- リハビリテーション先進医療  
開発講座
- 先端技術・医学融合展開講座
- 長寿・地域疫学講座
- 包括的地域連携緩和医療学  
講座

### 寄附講座

産学連携事業の一環として、奨学を目的とする民間企業等からの  
寄附金を有効に活用して講座を設置運営し、教育・研究・診療の推  
進を図ることを目的としています。

- 身体支持制御・骨代謝学講座
- 人工臓器・  
心臓移植再生医学講座
- リウマチ・関節機能制御学講座
- 薬物応用腫瘍科学講座
- 在宅チーム医療推進学講座
- 放射線科診療支援システム開発講座
- 分子脳病態解析学講座
- 心臓血管低浸襲治療学講座
- 先端的磁気共鳴画像研究講座
- スポーツ傷害予防医学講座
- 泌尿器先端医療講座
- 心臓血管血流解析学講座

## 文部科学省科学研究費の推移



# 教育スタッフ

京都府立医科大学の教育スタッフは、いずれも様々な医療分野の最先端で活躍してきたスペシャリストです。

医師や看護師を目指して学ぶ学生たちが、次世代の医療現場で即戦力として活躍できるよう、教員一人ひとりが持つ生きた知識やノウハウを活かした、高度で専門的な教育を実践しています。



学長 吉川 敏一



副学長(大学総務、国際交流担当)  
久保 俊一



副学長(教育研究担当)  
渡邊 能行



副学長(大学財務、医療担当)  
吉村 了勇



副学長(北部医療センター、産学公連携担当)  
中川 正法

## 医学科

### 医学科長 吉川 敏一

(学長、附属脳・血管系老化研究センター所長)

#### • 附属北部医療センター

教授 中川 正法  
(附属北部医療センター病院長兼副学長)

#### 【教養教育】

#### • 人文・社会科学教室

教授 瀬戸山晃一  
准教授 八木 聖弥

#### • 第一外国語教室

教授 木塚 雅貴  
(教養教育部長)

#### • 数学教室

教授 長崎 生光  
講師 吉井 健悟

#### • 物理学教室

教授 上原 正三  
講師 昌子 浩登

#### • 化学教室

教授 鈴木 孝禎  
講師 伊藤 幸裕

#### • 生物学教室

教授 小野 勝彦  
准教授 野村 真

#### 【専門教育】

#### • 解剖学教室

(生体構造科学部門)

教授 田中 雅樹  
准教授 松田 賢一  
講師 山田 俊児

(生体機能形態科学部門)

教授 横山 尚彦  
講師 小林 大介

#### • 生理学教室

(細胞生理学部門)

教授 丸中 良典  
(附属図書館長、総合情報センター長)

准教授 宮崎 裕明  
講師 樽野 陽幸

(統合生理学部門)

教授 八木田和弘  
講師 井之川 仁  
講師 土谷 佳樹  
講師 小池 宣也

#### • 分子医科学教室 (分子生化学部門)

教授 奥田 司  
講師 吉田 達士  
講師 栗原 康通

(ゲノム医科学部門)

教授 田代 啓  
准教授 中野 正和

#### • 病理学教室 (人体病理学部門)

准教授 小西 英一  
准教授 井村 徹也  
講師 岸本 光夫

(細胞分子機能病理学部門)

教授 田中 秀央  
准教授 原田 義規  
講師 松山 高明

(分子病態病理学部門)

教授 伊東 恭子  
講師 藤本 崇宏

#### • 感染病態学(微生物・医動物)教室

教授 中屋 隆明  
研究准教授 山田 稔  
講師 渡邊 洋平  
講師 大道寺 智

#### • 免疫学教室

教授 松田 修  
(研究部長)

准教授 岸田 綱郎

#### • 薬理学教室

教授 矢部 千尋  
研究准教授 岩田 和実

#### • 保健・予防医学教室 (予防医学部門)

教授 酒井 敏行  
准教授 曾和 義広  
講師 堀中 真野

(公衆保健科学部門)

教授 渡邊 能行  
(副学長)

准教授 栗山 長門

#### • 法医学教室

教授 池谷 博  
准教授 新谷 香  
講師 井戸田 望



北脇学生部長

#### • 生物統計学教室

教授 手良向 聡

#### • 内科学教室

(内分泌・免疫内科学部門)

教授 福井 道明  
病院教授 川人 豊  
講師 河野 正孝  
講師 山崎 真裕

(循環器・腎臓内科学部門)

教授 的場 聖明  
准教授 白山 武司  
講師 玉垣 圭一

(呼吸器内科学部門)

教授 高山 浩一  
講師 竹村 佳純

(消化器内科学部門)

教授 伊藤 義人  
(内科代表教授)

准教授 内藤 裕二  
准教授 小西 英幸  
講師 阪上 順一  
講師 角田 圭雄  
講師 吉田 直久  
講師 保田 宏明

(血液・腫瘍内科学部門)

准教授 堀池 重夫  
講師 黒田 純也

(神経内科学部門)

教授 水野 敏樹  
講師 吉田 誠克

#### • 外科学教室

(消化器外科学部門)

教授 大辻 英吾  
准教授 岡本 和真  
准教授 落合登志哉  
准教授 市川 大輔

	講師	中西 正芳
	講師	生駒 久視
(移植・一般外科学部門)	教授	吉村 了勇 (附属病院長・副学長)
	准教授	牛込 秀隆
	講師	飯田 拓
	講師	昇 修治
(内分泌・乳腺外科学部門)	教授	田口 哲也 (外科代表教授)
(心臓血管・小児心臓血管外科学部門)	教授	夜久 均
	病院教授	山岸 正明
	講師	神田 圭一
(呼吸器外科学部門)	教授	井上 匡美
	病院教授	島田 順一
	講師	加藤大志朗
(小児外科学部門)	教授	田尻 達郎
	講師	古川 泰三
(形成外科学部門)	准教授	沼尻 敏明
	講師	素輪 善弘
•脳神経外科学教室	教授	橋本 直哉
	病院教授	笹島 浩泰
	講師	立澤 和典
	講師	川邊 拓也
•整形外科教室	教授	久保 俊一 (副学長)
	病院教授	金 郁喆
	准教授	堀井 基行
	准教授	藤原 浩芳
	講師	上島圭一郎
	講師	生駒 和也
	講師	白井 寿治
	講師	寺内 竜
	講師	小田 良
	講師	長江 将輝
	講師	吉田 隆司
•スポーツ・障がい者スポーツ医学教室	准教授	新井 祐志
•リハビリテーション医学教室	教授	久保 俊一
	病院教授	三上 靖夫
•産婦人科学教室	教授	北脇 城 (学生部長)
	准教授	カーン カレク
	准教授	野口 敏史

	講師	岩佐 弘一
	講師	楠木 泉
•小児科学教室 (循環器・腎臓小児科学部門)	准教授	西田眞佐志
(血液・腫瘍・免疫小児科学部門)	教授	細井 創 (医療センター所長)
	准教授	家原 知子
	講師	今村 俊彦
	講師	秋岡 親司
(神経・内分泌代謝・新生児小児科学部門)		
•眼科学教室	教授	外園 千恵
	病院教授	横井 則彦
	講師	森 和彦
	講師	稲富 勉
•皮膚科学教室	教授	加藤 則人
	准教授	竹中 秀也
	講師	益田 浩司
	講師	浅井 純
•泌尿器科学教室	教授	浮村 理
	病院教授	沖原 宏治
	講師	鴨井 和美
	講師	本郷 文弥
•耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室	教授	平野 滋
	准教授	坂口 博史
	講師	中野 宏
•精神医学教室	准教授	上村 宏
	准教授	成本 迅
	講師	富永 敏行
•放射線医学教室	教授	山田 恵
	准教授	山崎 秀哉
	准教授	竹内 義人
	講師	寺山 耕司
	講師	鈴木 弦
•麻酔科学教室	教授	佐和 貞治
	病院教授	橋本 悟
	准教授	天谷 文昌
	講師	吉岡 真実
	講師	溝部 俊樹
	講師	伊吹 京秀
•感染制御・検査医学教室	病院教授	藤田 直久
	講師	稲葉 亨
	講師	中西 雅樹

•救急医療学教室	教授	太田 凡
	講師	山畑 佳篤
•総合医療・医学教育学教室	教授	山脇 正永
	准教授	滋賀 健介
	講師	石野 秀岳
•地域医療学教室	教授	山脇 正永
	講師	石野 秀岳
•疼痛・緩和医療学教室	教授	細川 豊史
	講師	上野 博司
•歯科	病院教授	金村 成智
	講師	山本 俊郎
•分子診断・治療センター	教授	吉村 了勇 (センター長)
	講師	滝 智彦
<b>【大学院中央研究室】</b>		
•RIセンター	研究教授	勝山 真人 (部門長)
•実験動物センター	研究教授	喜多 正和 (部門長)
<b>【脳・血管系老化研究センター】</b>		
•基礎医学系 (基礎老化学部門)	講師	渡邊 義久
(病態病理学部門)	教授	伊東 恭子
	講師	藤本 崇宏
•社会医学系 (社会医学・人文科学部門)	教授	渡邊 能行 (副学長)
	准教授	栗山 長門
•臨床医学系 (神経内科学部門)	教授	水野 敏樹
	講師	吉田 誠克

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

## 看護学科

### 看護学科長 星野 明子

•情報科学領域	准教授	浅野 弘明
•脳神経外科学・腫瘍学領域	教授	山中 龍也
•産婦人科学領域	教授	岩破 一博
•小児科学領域	教授	森本 昌史
•基礎看護学領域	教授	關戸 啓子
	准教授	滝下 幸栄
	講師	山本 容子
•看護倫理・管理学領域	教授	吾妻 知美

•成人看護学領域	教授	岩脇 陽子
	講師	室田 昌子
	講師	佐伯 良子
•精神看護学領域	教授	北島 謙吾
	講師	占部 美恵
•小児看護学領域	准教授	園田 悦代
	講師	馬場口喜子
•がん看護学領域	准教授	吉岡さおり

•母性看護学・助産学領域	教授	松岡 知子
	講師	吉岡友香子
	講師	中島 奈美
•在宅・老年看護学領域	教授	江本 厚子
	准教授	大橋 純子
	講師	岡野 明美
•地域看護学領域	教授	星野 明子
	准教授	志澤 美保
	講師	臼井 香苗

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

# キャンパスライフ

## 平成28年度スケジュール



オープンキャンパス

4

7日  
入学式

6,7日  
新入生オリエンテーション

20,22,26日  
学生定期健康診断

30日-5月3日  
対東京慈恵会医科大学定期選

5

21日  
解剖体春季追悼式

6

17日  
トリアス祭  
ナイトラウンジ

30日  
広小路音楽のタベ

7

15日-9月10日  
夏季休業

8

2,3日  
夏のオープンキャンパス

6日-21日  
西日本医科学生総合体育大会

下旬～  
京都府北部地域医療実習

9

下旬  
トリアス祭プレライブ



新入生歓迎会 お花見ハイク



## クラブ活動

### 体育部

本学はクラブ活動が盛んで、多くの学生がクラブに所属しています。学生が最も力を入れている大会に西日本の44医学部が参加する「西日本医科学生総合体育大会」があります。また年に一度、東京慈恵医科大学との交流試合が行われています。

全 20 部

- サッカー部
- 弓道部
- バスケットボール部
- 陸上競技部
- 準硬式野球部
- バレーボール部
- 柔道部
- ヨット部
- 軟式庭球部
- 剣道部
- 卓球部
- 水泳部
- ラグビー部
- バドミントン部



ラグビー部



空手道部



硬式庭球部



10

15日  
解剖体秋季追悼式

中旬  
トリアスダンスパーティー

下旬  
トリアススポーツ大会

下旬～  
トリアス祭

1日  
創立記念日

11

12

3日  
看護学科推薦入試

20日-1月10日  
冬季休業

1

14,15日  
センター試験

28,29日  
医学科推薦入試

2

中旬  
医師・看護師等国家試験

25,26日  
一般入試(前期日程)

3

3日  
卒業式

9日  
前期合格発表

10日-4月7日  
春季休業



地域医療実習



## 文化部

本学の文化部は様々な分野にわたり大学と連携した活動を展開しています。

他の大学との交流も盛んであり、鴨川のほとりという恵まれた環境の下で各々の学生が豊かな大学生活を謳歌しています。

### 全 14 部

- 写真部
- 音楽部交響楽団
- ライフサポート部
- 総合芸術部
- 美術部
- 軽音楽部
- ESS
- KFMSA
- 混声合唱団たちばな
- YMCA
- 東洋医学研究会
- 囲碁・将棋部
- 茶道部
- 人間環境学研究会



音楽部交響楽団

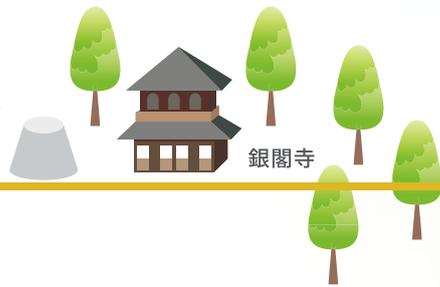


茶道部



写真部

# キャンパス周辺マップ



銀閣寺



## 下鴨神社

京都で最も古くからあり世界遺産に登録されている神社。境内には糺の森(ただすのもり)という社叢林が広がる。毎年5月15日に開催される葵祭では、ここ下鴨神社から牛車を通り、多くの見物人を楽しませている。

## 大文字山(如意ヶ嶽)



毎年8月16日に行われる五山送り火。東山如意ヶ嶽の大文字は府立医大からもよく見える。

TSUTAYA

ベーカリー柳月堂

ファミリーマート

出町柳駅

高野川

川端通

KAWABATA Street

鴨川

加茂川

## 出町柳デルタ

高野川と加茂川の合流地点。学生はもちろん、子供やお年寄りにも広く親しまれている。亀石を跳んで川を渡って楽しむ人も。



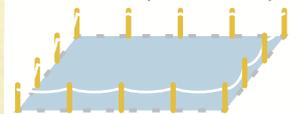
## 出町ふたば

創立から100年、昔ながらの手法を守る和生菓子や赤飯などの専門店。看板商品の名代豆餅は、日々お客さんが列をなすほどの人気ぶり。



## 永守記念最先端がん治療研究センター

(建設予定)



今出川通

IMADEGAWA Street

ミスタードーナツ

SECOND HOUSE

## 甘味処 みつばち

材料にこだわった手作りの海藻の風味豊かな寒天が人気のあんみつ専門店。落ち着いた店内は休憩にぴったり。



## かつかつとんとん

赤い壁に丸窓が目印。暖かい季節はお弁当のテイクアウトもできるので、鴨川や京都御苑で楽しんでみてはいかがでしょうか？



餃子の王将

## 枅形商店街

昭和の雰囲気を残した昔ながらの商店街。たくさんの買い物客が訪れ、活気に溢れている。



## 京都御苑

かつての歴代天皇が住まわれていた宮殿。現在は公園内をいつでも出入りできる。京都御所と京都迎賓館も今後、通年の一般公開がはじまる予定。





白川通 SHIRAKAWA Street

東大路通 HIGASHIOHJI Street



### 鴨川

京都市を流れる河川。木陰が涼しくベンチも多数置かれており、憩いの場として多くの人に親しまれている。

京都は寺社仏閣が多く長い歴史を有する地である一方、『学生の町・京都』と呼ばれるように学生が多く、学生にとって過ごしやすい街です。河原町・広小路キャンパスは、東は鴨川、西は京都御苑（御所）に隣接する他、河原町通りにはカフェが多くお洒落な場所でもあり、勉学の気分転換に絶好のロケーションです。

京阪電鉄

## 京都府立医科大学

KYOTO PREFECTURAL UNIVERSITY OF MEDICINE

河原町キャンパス

居酒屋 くれない

### 新福菜館 -しんぷくさいかん-

校舎の目の前にある京都を代表する老舗中華そば屋さん。醤油味が人気で府立医大前店では本店には無いもやしが入るのがポイント。

河原町通 KAWARAMACHI Street

府立文化芸術会館

### CHAPEAU -シャポ-

50年も前から府立医大生や教授たちに愛され続けるカフェ。いつも元気で明るいご夫婦がおいしいコーヒーと一緒に迎えてくれる。



### ごはん cafe 綴 -つづれ-

府立医大生も多く訪れるというごはんカフェ。雑誌でも紹介されるボリュームたっぷりのプレートメニューが人気。



広小路キャンパス

寺町通 TERAMACHI Street



梨木神社

# 附属病院



東側全景（鴨川より）



病院正面玄関



外来診療棟 5階上緑化テラス



外来診療棟 2階外待合



附属病院内1階 ローソンのイートイン

## 病院紹介

「世界トップレベルの医療を地域へ」を理念の下、  
診療科が連携し、最先端で高度な医療を提供

比叡山と大文字を背に、京都御所を前にして、鴨川に白い影を映す京都府立医科大学附属病院の威容は、京都のシンボルでもあります。

附属病院は144年にわたる長い歴史の中で優秀な医師を輩出し、京都府内だけでなく広域にわたってその医療を支えてきました。

現在、毎日約2,100人の外来患者さんが訪れ、最新の医療機器を備える病棟は許可病床数1,065床で運用しています。

平成23年度には新しい外来診療棟がオープン。臓器別・疾病別のメディカルセンターを設置し、関連する診療科が連携した総合的な医療を提供しています。また、ゆったりとした待合スペースや個室化された診察室など、府民の総合的な健康管理の中枢センターとして、より一層最適な医療サービスが提供できる環境を整備しました。

また、本院は都道府県がん診療連携拠点病院、小児がん拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、エイズ治療拠点病院、災害拠点病院などの指定を受けており、各分野で専門性の高い治療を行っています。

特にがん診療に関しては、相談から診断、治療、緩和ケアまで含めた統合的がん診療のさらなる充実を図り、がん死亡率の減少、QOLの向上を目指すなど、小児から成人まで、幅広く対応できる拠点病院として府内のがん診療の連携拠点としても体制の強化を図っています。

特定機能病院、病院機能評価認定（Ver.6）の本院は、一般の患者さんを診療するとともに、医学教育の中で大切な臨床実習の場でもあります。医学生はここで、患者さんとのふれあいの中で臨床医学の基礎を学び、さらに最先端の医学に接しながら、医師としての基本的な心構えを身に付けます。

卒後臨床研修にも力を入れており、全国でも珍しい総合診療外来研修や、きめ細かな研修医セミナーなどを実施。平成23～25年、27～28年に研修医マッチング率100%を達成するなど、医学生からの高い人気を得ています。

病院のアメニティに関しては、外来診療棟等の整備が完了し、オープンカフェやコンビニエンスストア、レストラン、患者図書室が新たにオープンし、患者さんはもちろん、学生や教職員からも喜ばれています。

# メディカルセンター

チーム医療を重視し、臓器別・疾患別に、診療科目の枠を越えたトータルな治療を実現

単独診療科の診療領域を広げた、チーム医療を意識した臓器別・疾患別のメディカルセンターです。メディカルセンター化により、内科・外科の枠を越えて、診療科が連携したトータルな医療を提供します。

## リウマチセンター

関節リウマチを代表とするリウマチ性疾患の治療は、生物学的製剤をはじめとする薬剤の進歩に伴い、急激な転換期を迎えており、総合的・集約的なアプローチが不可欠なものとして、社会的なニーズも高まりを見せています。

当センターでは、整形外科と膠原病・リウマチ・アレルギー内科が連携することで、外科的な処置やリハビリテーション、内科的合併症についても迅速に対応しており、リウマチ患者さんに専門的な医療を提供しています。

## 脳神経センター

認知症、パーキンソン病、脳腫瘍、さらには緊急性を要する脳卒中などの脳血管病の治療にもリハビリテーションを含めて迅速に対応しています。今後の超高齢社会を見据え、神経内科と脳神経外科をはじめとする関係診療科が緊密に連携し、「急性期から慢性期」までをトータルにケアできる体制を確保しています。

【センター化された診療科】

階	メディカルセンター	診療科等
4階	小児医療センター	小児科
		小児循環器・腎臓科
		小児外科
		小児心臓血管外科
3階	循環器センター	循環器内科 心臓血管外科
	腎・尿路センター	腎臓内科
		泌尿器科
		前立腺腫瘍センター
	アレルギーセンター	各診療科のアレルギー外来
	メンタルケアセンター	精神科・心療内科
女性センター	産婦人科	
2階	消化器センター	消化器内科 消化器外科
	呼吸器センター	呼吸器内科
		呼吸器外科
		放射線科
1階	脳神経センター	神経内科 脳神経外科
	リウマチセンター	整形外科・膠原病・リウマチ・アレルギー科のリウマチ外来



## 呼吸器センター

当センターでは、肺癌、喘息、慢性閉塞性肺疾患、呼吸器感染症、間質性肺炎などの疾患を、呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科など関係診療科が、連携性を高めてセンターとして治療しております。

特に肺癌に対しては、診断から初期治療、そして再発時まで、手術療法・化学療法・放射線治療などを迅速かつ適切に行います。また、慢性呼吸不全の在宅酸素療法、睡眠時無呼吸の経鼻持続陽圧呼吸療法も実施しております。

## 消化器センター

消化器疾患は内科領域、外科領域のなかで最も患者数の多い部門であります。

治療においては、内視鏡療法、化学療法、免疫療法等の治療を効果的に実施するため、内科、外科の領域を超えての協力・共同作業が重要であり、診察室を共有化して効率的に運用することはもちろん、関連する診療科の連携を密にし、より最適な医療の提供を行っています。

## 女性センター

女性と男性は生物学的・社会的に異なる健康ニーズをもっています。女性と男性の社会的・文化的差異に着目した「ジェンダー医学」を推進し、女性の健康を生涯にわたるそれぞれのライフステージに対応した診療・治療を行います。

## メンタルケアセンター

うつ病・ストレス関連障害や、高齢化に伴う認知症の増加などを背景に、メンタルケアの重要性が高まっています。

精神神経科と心療内科から構成される当センターでは、広がりを見せる「こころの病気」に対して適切な医療を提供いたします。認知症についても、鑑別診断や精神症状の治療を中心に認知症疾患医療センターと連携して専門的医療を提供いたします。

## アレルギーセンター

従来から、アレルギー疾患は臓器別に診察や治療を行っていましたが、アレルギーなどの原因は共通しており、症状は合併して出現することが多くあります。このため、アレルギー疾患の診断及び治療をセンターに一元化し、関係する診療科が連携して診察・治療に当たることにより、より適切な医療を提供しています。

## 腎・尿路センター

センター内に、診察・検査・治療・患者指導の各部門を設け、腎・尿路ならびに前立腺をはじめとする男性生殖器に関連した疾患に対する医療を提供しています。疾患に応じて、複数の科で連携して診察を行い、円滑な外来診療を行います。急性疾患は、一回の受診で診断から治療に至るまで速やかな対応を行います。慢性疾患に対しては、栄養・生活指導などのアドバイスを含めた自己管理のサポートを行います。

## 循環器センター

循環器疾患患者には重症が多いため、心臓救急への対応機器をセンター内に設置するとともに、心エコーや心電図、ペースメーカーチェック（植込型除細動器・心臓再同期療法を含む）にも対応しています。また、心血管再生医療や経皮的心房中隔欠損閉鎖術などの高度先進医療にも取り組んでおり、循環器内科・心臓血管外科の緊密な連携のもと、患者さんに適切な医療を提供しています。

# 小児医療センター

## 高度で集中的な治療と研究を行う小児専門の医療施設

小児医療センターは、1982年に開設された附属小児疾患研究施設の機能を引き継ぐとともに、小児医療の集約化や更なる高度先進医療の提供等を目指し、2011年（平成23年）10月に開設されました。

当センターは、成育過程に応じた治療環境の整備や小児治療を支える家族の支援機能の強化など子ども一人一人の特性にあった治療環境においても整備を進めるとともに、腫瘍、血液、アレルギー、循環器、腎臓、神経、内分泌・代謝、乳児発達の小児科の高度専門領域に総合診療部を加えた内科系診療と、消化器疾患を中心とした小児外科、先天性心疾患を中心とした小児心臓血管外科の外科系診療部が密接な連携のもと診療を行っています。



小児医療センター入り口



小児医療センター外来待合



小児医療センタープレイルーム



## 各種指定・先進医療



### 各種指定

- 病院機能評価認定病院
- 都道府県がん診療連携拠点病院
- 小児がん拠点病院
- 肝疾患診療連携拠点病院
- エイズ治療拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 認知症疾患医療センター
- 第一種感染症指定医療機関
- 妊娠と薬情報センター拠点病院
- 眼球銀行（アイバンク）
- 腎臓バンク
- HLA 検査施設
- 臨床研修指定病院
- 地域災害拠点病院

### 先進医療

#### 【第2項先進医療】

- 膀胱尿管逆流に対する腹腔鏡下逆流防止術
- 骨髄細胞移植による血管新生療法
- 末梢血単核球細胞移植による慢性閉塞性動脈硬化等に対する血管再生治療
- 角膜ジストロフィーの遺伝子解析
- 泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術
- 前眼部三次元画像解析
- 多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術
- 急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定

#### 【第3項先進医療】

- 術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法
- 自己口腔粘膜及び羊膜を用いた培養上皮細胞シートの移植術
- パクリタキセル静脈内投与及びカルボプラチン腹腔内投与の併用療法
- インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用法

# 附属北部医療センター

## 病院紹介

### 「信頼される全人的医療」を理念に

京都府立医科大学附属北部医療センターは、京都府北部の医療と医学教育の基幹施設です。「信頼される全人的医療」を理念とし、京都府北部の中核病院として地域医療に貢献しています。

救急告示病院、地域災害医療センター、京都府周産期二次病院など多くの病院機能を有しています。

平成26年3月には救急室を拡張・整備し、京都府初の救急隊が常駐する救急ワークステーションの運用を開始するなど、救急医療体制を一層充実させました。

また、当院は京都府立医科大学の附属病院として、医師は全て府立医科大学の教員であり、診療・教育・研究の体制を充実させています。

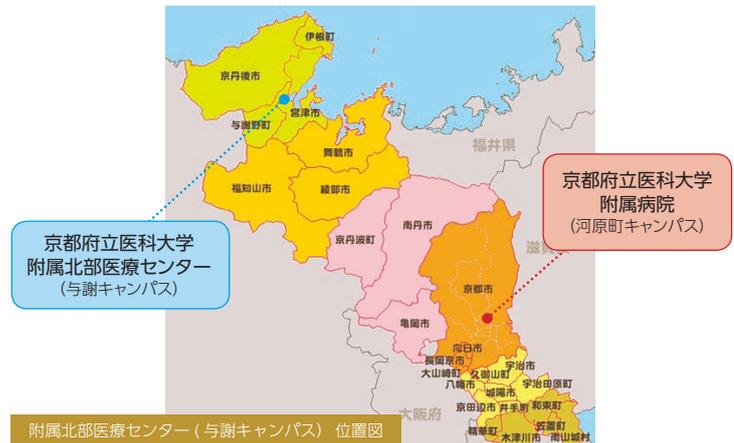
特に、総合医療、高度医療の充実を進めることとしており、また同時に地域医療連携においても地域の中心的役割を果たしています。

当センターでは、地域医療学講座の開設などで、総合診療力を備えた医師を育成し、全国から優秀な医師が集まるフィールドを構築することを目指しており、学生実習においては、地域医療を担う使命感を持った医療従事者を育成するために、医学科生、看護学科生を対象に地域滞在型の医療実習を地域の診療所等と連携しながら実施しています。

各病棟や職員食堂からは日本三景 天橋立が一望できる恵まれた自然環境にあり、休日には歴史や伝説が伝わる観光地や温泉巡りでリフレッシュできるなど、恵まれた環境にあります。

### 【病院概要】

所在地:	京都府与謝郡与謝野町字男山481
開設年:	昭和28年（府立与謝の海病院の期間を含む）
病床数:	295床（一般276床、結核15床、感染症4床）
医師数:	60名（平成28年4月1日現在）
診療科:	総合診療科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、神経内科、外科、消化器外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、精神科、麻酔科、皮膚科、救急科、放射線科、病理診断科
入院患者数(27年度)	86,009人
外来患者数(27年度)	144,708人



# 関連施設等紹介

## 附属脳・血管系老化研究センター

アルツハイマー病や認知症疾患など、  
老化のメカニズムを解明する研究施設

附属脳・血管系老化研究センター（老化研）は、1990年（平成2年）11月に創設された研究施設です。基礎医学系2部門、社会医学系1部門、臨床医学系1部門からなっています。その名の示すとおり、老化のメカニズムの解明を目的として設立された、まさに21世紀に求められている研究施設です。基礎医学系は基礎老化学部門及び病態病理学部門、社会医学系は社会医学・人文科学部門からなり、それぞれが連携しあって老化に関する研究を行っているほか、臨床医学系である神経内科学部門とも共同研究を行っています。神経内科学部門は神経疾患に関する病態の解明を研究するほか、附属病院に神経内科（老年内科）の外來診療室

と専用の入院病棟をもち、神経内科に関するすべての疾患をここで診断・治療しています。

老化研では、脳血管障害、アルツハイマー病に代表される認知症、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症を含む神経変性疾患など、まさに加齢に伴って増えてくる疾患を研究対象としています。一方で、老化と対極にありながら老化を理解する大きな手がかりを与えてくれる発生・発達過程を解明するために、脳形成障害や筋ジストロフィーなどに関する研究を行っています。

21世紀は「脳の世紀」と呼ばれるように、世界的な規模で展開される脳研究の成果が脳機能の解明に貢献するとともに神経系の種々の疾患の診断や治療に応用される時代を迎えるなかで、本学老化研が果たす役割はますます重要になるといえるでしょう。

## 附属図書館

医学、看護学などの専門書をはじめ、  
貴重な図書資料を数多く所蔵

医学分野を中心に資料や情報を提供する附属図書館は、河原町通の西側、広小路キャンパスに位置します。

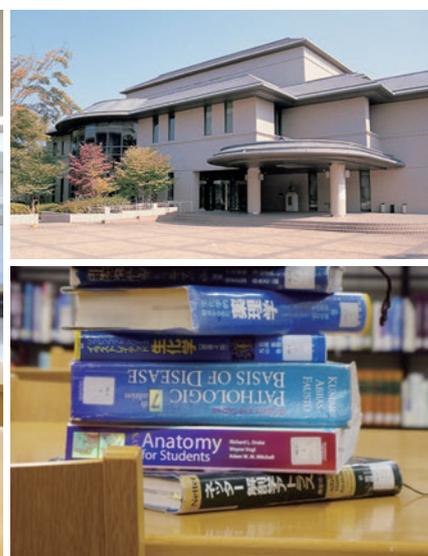
大学と共に歴史は古く、1890年（明治23年）に京都医学校が病院内に設置した書籍室以来120余年、教育・研究・診療活動を支援してきました。

1992年（平成4年）5月に附属図書館・合同講義棟として新館が開設され、旧図書館棟（現・京都府指定文化財）から現在地へ移転しました。京都御所に隣接し、河原町通りを臨む閑静で明

るい施設です。

館内は無線LANが整備され、第1～3閲覧室、情報検索室で学生が資料や情報を活用して学習しています。AVルーム、セミナー室、ブラウジングルームは、グループ学習や研究会などコミュニケーションの場として活発に利用されています。教職員や大学院生は個人閲覧室もよく利用しています。また下鴨キャンパスにも図書室を設置しています。

蔵書はおよそ28万冊。図書館ホームページから蔵書検索が可能です。電子ジャーナル、電子ブック、医学情報データベースなど電子版の情報も利用できます。図書館で所蔵していない文献の取寄せなど様々なサービスも行っています。



# 医療センター

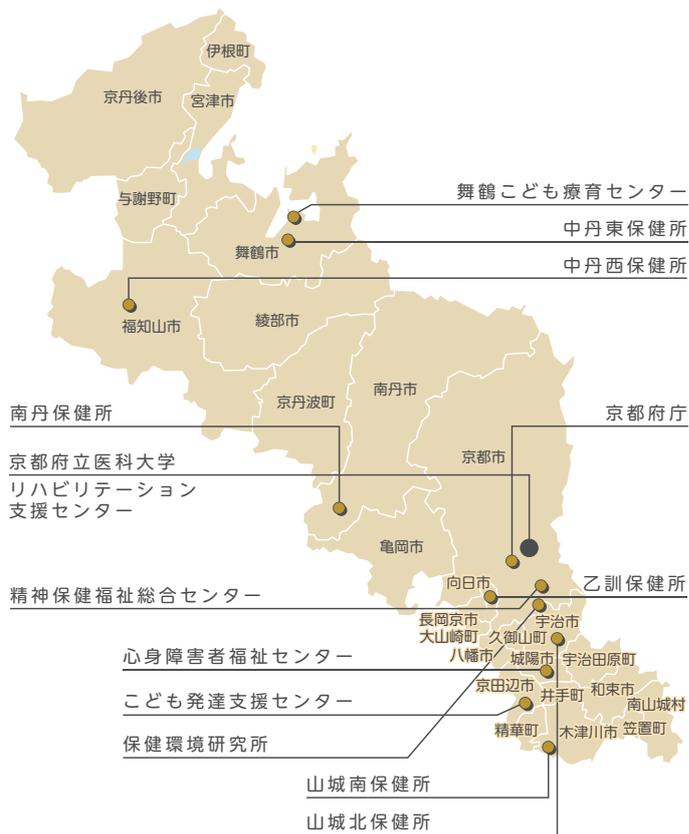
## 病院、保健所、福祉センターなど、 京都市民の健康を見守る地域医療支援システム

京都府立医科大学医療センターは、その理念として「地域医療に深く関わり、高度な医療技術を府民の健康確保のために活用し、併せて医学の発展に資すること」を目的に、1971年（昭和46年）6月に全国に先がけて設置されたユニークなシステムです。2016年（平成28年）4月1日現在の所属職員数は32名で、京都府内6保健所、舞鶴子ども療育センター、京都府立心身障害者福祉センター、京都府精神保健福祉総合センター、京都府立子ども発達支援センター、リハビリテーション支援センター、保健環境研究所及び京都府庁内の健康対策課、福祉・援護課、給与厚生課に配置されています。医療センターの職員の多くは、京都府に本務があり、同時に本学の社会学や臨床医学各教室の併任の教員（准教授・講師・助教）でもあります。このため文部科学省の科学研究費等による研究や、母教室の教育や外来診療にも関わっています。

府民及び地域に貢献するため、地域医療学や救急・災害医療システム学などの分野を、医療センターが中心となって担当します。

京都府「明日の京都」長期ビジョンの基本方向の一つである「府民安心の再構築」で唱われているように、医療・福祉の安心を目指し、40年余りの歴史を持つ本学の医療センターの更なる充実・尽力が期待されています。

### 【医療センター職員派遣機関】



## 関係病院

### 京都府内はもちろん、滋賀、大阪、兵庫など、 広域において各種病院と連携

本学は、附属病院や研究施設だけでなく、近畿を中心とした数多くの病院と連携し、実習や研究などの大学や大学院教育、診療での連携など、さまざまな活動で協力体制を構築しています。

### 関係病院一覧

#### ●京都府

独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター、独立行政法人国立病院機構宇多野病院、京都府立心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院、京都府立舞鶴子ども療育センター、綾部市立病院、亀岡市立病院、京都市立病院、京都市立京北病院、京都山城総合医療センター、京丹後市立久美浜病院、国保京丹波町病院、精華町国民健康保険病院、公立南丹病院、市立福知山市民病院、市立舞鶴市民病院、京丹後市立弥栄病院、京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院、舞鶴赤十字病院、社会福祉法人恩賜財団済生会京都府病院、独立行政法人地域医療機能推進機構京都鞍馬口医療センター、国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院、一般社団法人愛生会山科病院、社会福祉法人宇治病院、医療法人啓信会京都きづ川病院、がくさい病院、医療法人健康会総合病院京都南病院、一般財団法人日本パプテスト連盟医療団総合病院日本パプテスト病院、医療法人社団蘇生会蘇生会総合病院、社会医療法人岡本病院（財団）第二岡本総合病院、医療法人財団康生会武田病院、医療法人仁会武田総合病院、社会福祉法人京都社会事業財団西陣病院、社会医療法人西陣健康会堀川病院、明治国際医療大学附属病院、医療法人社団洛和会洛和会音羽病院（ほか44病院）

#### ●滋賀県

独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、大津市民病院、東近江市立蒲生医療センター、長浜市立湖北病院、東近江市立能登川病院、社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院、社会医療法人誠光会草津総合病院（ほか9病院）

#### ●大阪府

社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会吹田病院、パナソニック健康保険組合松下記念病院、西日本旅客鉄道株式会社大塚鉄道病院、公益財団法人大阪労働衛生センター第一病院、社会医療法人祐生会みどりヶ丘病院（ほか5病院）

#### ●兵庫県

独立行政法人国立病院機構兵庫青野原病院、明石市立市民病院、独立行政法人地域医療機能推進機構神戸中央病院（ほか6病院）

#### ●その他

市立奈良病院、医療法人福井愛育病院、朝日大学歯学部附属村上記念病院（ほか3病院）

# 卒業後の進路 奨学金・減免制度等

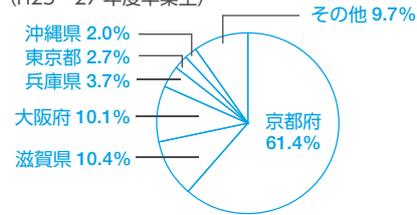
## 主な臨床研修・就職先

卒業後は、京都府内を中心に様々な医療機関や地方公共団体などへ

### 医学科

【1年目臨床研修病院】  
 本学附属病院 済生会吹田病院  
 京都第一赤十字病院 名戸ヶ谷病院  
 京都第二赤十字病院 草津総合病院  
 済生会滋賀県病院 飯塚病院  
 大津市民病院 本学北部医療センター  
 近江八幡市立総合医療センター 社会保険京都病院  
 公立南丹病院 京都大学附属病院  
 京都市立病院 市立奈良病院  
 市立福知山市民病院 福岡徳州会病院  
 京都医療センター 市立堺病院  
 神戸市立医療センター中央市民病院 京都市民連中央病院  
 沖縄県立中部病院 市立敦賀病院  
 綾部市立病院 市立伊丹病院  
 松下記念病院 虎の門病院  
 山城総合医療センター

医学科卒業生 1年目臨床研修病院 都道府県別割合 (H25~27年度卒業生)

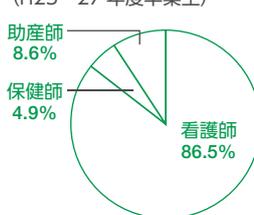


【本学附属病院研修医：全体の49.7%  
 ※1年目臨床研修病院が学外の場合があります。】

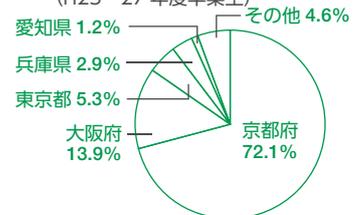
### 看護学科

【就職】  
 本学附属病院 滋賀医科大学附属病院 京都府  
 京都大学医学部附属病院 大阪大学医学部附属病院 京都市  
 京都第一赤十字病院 大阪市立大学医学部附属病院 京都市  
 京都第二赤十字病院 大阪市立総合医療センター 精華町  
 京都山城総合医療センター 神戸大学医学部附属病院 滋賀県  
 京都医療センター 神戸市立医療センター 大阪府  
 京都府立病院 神戸市立病院機構 大阪市  
 福知山市民病院 和歌山県立医科大学附属病院  
 綾部市民病院 北野病院  
 京都市民連中央病院 地域医療機能推進機構大阪病院  
 洛和会音羽病院 大阪府三島救急医療センター  
 京都武田病院 大阪医科大学附属病院  
 国立循環器病研究センター 聖路加国際病院  
 東京医科歯科大学病院 東京女子医科大学病院  
 名古屋大学附属病院 東京警察病院  
 東京警察病院

看護学科卒業生 職種別就職状況 (H25~27年度卒業生)



看護学科卒業生 都道府県別就職先 (H25~27年度卒業生)



京都府には、本学附属病院 (全体の51.2%) を含む。

## 奨学金・減免制度等

入学金、授業料の減免や奨学金など、経済状況に応じた学費支援制度が利用可能

### 入学科・授業料

#### ●入学科

	医学科	看護学科
府内在住	282,000円	169,200円
府外在住	493,000円	282,000円

#### ●授業料

年額 **535,800円** (前・後期の区分による年2回の分納となります。)  
 ※金額は平成28年度の金額です。

### 入学科・授業料の減免

#### ●入学科の減免

入学許可を受ける日の前1年以内に罹災する等により、入学料の納付が困難と認められる場合には、入学料が減免、または徴収猶予される場合があります。

#### ●授業料の減免

成績が良好で、学資困難その他特別の事情があると認められた者に対しては、授業料が減免されます。

### 奨学金

#### ●日本学生支援機構奨学金

優れた学生で、経済的理由により修学が困難な人に貸与されます。

種類	貸与月額
第一種奨学金 (無利子)	自宅通学 30,000円または45,000円
	自宅外通学 30,000円または51,000円
第二種奨学金 (有利子)	30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円のいずれか
入学時特別増額奨学金 (有利子)	入学月の基本月額に10万円、20万円、30万円、40万円、50万円を増額

※貸与月額は平成28年度の金額です。

#### ●京都府立医科大学 NIM 奨学金

医学科卒業生からの寄付を基にして、医学科各学年の成績優秀者に奨学金を交付します。

#### ●その他の奨学金

その他、地方公共団体や民間の事業団体による奨学金制度があります。

### 下宿等

本学には学生寮はありませんが、大学の町・京都には昔ながらの情緒ある下宿から、都市型のワンルームマンションまで、学生向けの賃貸住宅が豊富です。

# 入学試験情報

## 平成 29 年度入学試験概要（予定）

学科	試験区分	募集人員	出願期間	試験日	募集要項配布開始
医学科	一般選抜（前期日程）	100	平成29年1月23日(月)～2月1日(水)	平成29年2月25日(土)、26日(日)	11月中旬
	推薦入試（センター試験を課す）	7	平成29年1月18日(水)～1月23日(月)	平成29年1月28日(土)、29日(日)	
看護学科	一般選抜（前期日程）	45	平成29年1月23日(月)～2月1日(水)	平成29年2月25日(土)	7月中旬
	推薦入試（センター試験を課さない）	40	平成28年11月4日(金)～11月8日(火)	平成28年12月3日(土)	

※一般選抜（後期日程）は実施しません。  
 ※試験詳細については、必ず各学生募集要項で確認してください。

## 平成 28 年度入学試験結果

### ●試験区分別実施結果

学科	試験区分	募集人員	志願者数	第1段階合格者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率		
医学科	一般選抜（前期日程）	100	320	320	302	100	100	3.2		
			男女別	男子	227	227	213		75	75
				女子	93	93	89		25	25
			現浪別	現役	150	150	144		43	43
				非現役	170	170	158		57	57
	推薦入試	7	29	29	29	7	7	4.1		
	男女別	男子	16	16	16	4	4			
		女子	13	13	13	3	3			
	現浪別	現役	19	19	19	6	6			
		非現役	10	10	10	1	1			
看護学科	一般選抜（前期日程）	45	91	90	88	48	45	2.0		
			男女別	男子	3	3	3		1	1
				女子	88	87	85		47	44
			現浪別	現役	74	74	72		35	35
				非現役	17	16	16		13	10
	推薦入試	40	71	71	71	40	40	1.8		
	男女別	男子	5	5	5	3	3			
		女子	66	66	66	37	37			

※一般選抜（後期日程）は実施していません。  
 ※看護学科推薦入試は現役生のみ対象です。

### ●一般選抜（前期日程）合格者得点

学科	最高点	最低点	平均点	配点		
				センター試験	2次学力試験	合計
医学科	821.70	686.70	723.10	450	600	1050
看護学科	904.40	781.00	820.84	900	200	1100

### ●出身高校所在都道府県別志願者数及び合格者数

都道府県	医学科		看護学科	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
北海道	1		1	1
青森県				
岩手県				
宮城県	1			
秋田県			1	1
山形県				
福島県				
茨城県	2			
栃木県	3	1		
群馬県	1			
埼玉県	3			
千葉県	2	1		
東京都	17	2		
神奈川県	3	1		
新潟県				
富山県	1			
石川県	2			
福井県	1			
山梨県	1			
長野県	1			
岐阜県	1		3	3
静岡県	3		2	1
愛知県	7	1	2	
三重県			1	
滋賀県	6	3	12	9
京都府	119	39	93	50
大阪府	82	26	28	16
兵庫県	33	13	6	4
奈良県	23	8	4	1
和歌山県	8	4		
鳥取県	1	1	1	
島根県				
岡山県	1		2	
広島県			1	
山口県	1			
徳島県				
香川県	1		2	
愛媛県	3	1	1	1
高知県	2	1		
福岡県	7	3	1	
佐賀県	2			
長崎県				
熊本県	1			
大分県	1			
宮崎県	2			
鹿児島県	3	2		
沖縄県	2			
その他	1		1	1
合計	349	107	162	88

# 大学沿革

京都府立医科大学は1872年(明治5年)に設立されて以来144年の歴史を誇るわが国でも最も古い医科大学の一つです。

本学の設立に至る経緯は極めてユニークなものです。1868年(明治元年)から京都府を通じて西洋医学の教育病院を設立したいと願っていた京都市民は、自らの寄付によって、京都東山の青蓮院の境内に病院を建て、そこにドイツ人を講師に呼んできたのです。多くの医科大学・医学部では、まず大学などの教育施設ができ、その研修の場として附属病院が作られましたが、本学においては、府民の医療を第一とする病院がまず作られ、次にこの病院での医療・医学を担う人材を養成する場として大学が位置付けられました。

また、看護学科は1889年(明治22年)に設置された附属産婆教習所に始まり、附属看護専門学校、医療技術短期大学部などの変遷を経て、2002年(平成14年)から医学部看護学科として設置されています。

設立以来、本学は地域社会の要請に応えることのできる優れた医療人、研究者を養成するという使命を担い、今日に至るまでこの設立方針が堅持され、府民から絶大な信頼が寄せられています。



1880

療病院・医学校卒業生  
(中列、左から4人目萩原校長、5人目シヨイベ)

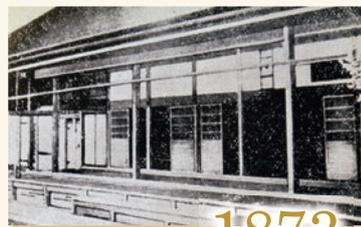
粟田口青蓮院療病院



1872

療病院開業式次第

療病院(青蓮院)の病室

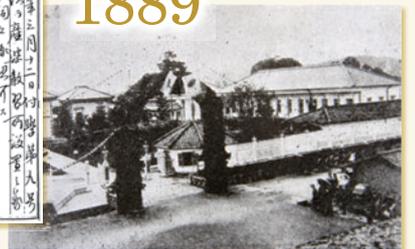


1873

産婆教習所設置認可



1889



医学校 10周年

1872

明治 5年  
11月

粟田口青蓮院内に療病院を設け、患者の治療を行うかたわら医学生を教育した

1880

明治 13年  
7月

現在地の上京区河原町通広小路上る梶井町に療病院を移転

1889

明治 22年  
4月

本校の附属として産婆教習所を設置

1921

大正 10年  
10月

大学令による京都府立医科大学を設置し、同時に予科を開設

1949

昭和 24年  
4月

附属甲種看護婦学院(後に看護学院と改称)を設置

1952

昭和 27年  
2月

学校教育法による新制大学を設置

1957

昭和 32年  
3月

本大学に大学院(医学研究科)を設置

1971

昭和 46年  
6月

医療センターを設置

1972

昭和 47年  
11月

創立百周年

1976

昭和 51年  
9月

専修学校制度により、附属看護学院を附属看護専門学校と改称

1911



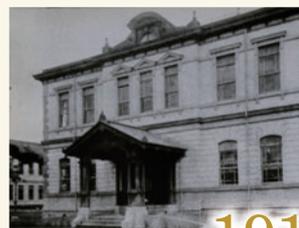
看護婦講習生

1912



臨床講義

医学専門学校本館



1914

医科大学正門



1927

京都府立医科大学学術研究会発会式



1920



附属療病院玄関



西方から附属病院を望む

1921



1932

医科大学門灯



医科大学西構（現文化芸術会館所在地）



看護学科戴帽式

1950

1959



病院廊下を通過して突入するデモ隊

1962



1967

花園分院



1949

伏見分院正門 臨床実習を終えた附属女子専門部生徒



看護学科 演習



創立100周年記念式正面

1972

臨床研究棟

1982

昭和57年  
11月

附属小児疾患研究施設（京都府こども病院）設置

1993

平成5年  
4月

医療技術短期大学部（看護学科）設置

2002

平成14年  
4月

医学部に看護学科を設置

2007

平成19年  
4月

大学院医学研究科修士課程及び大学院保健看護研究科修士課程を設置

2008

平成20年  
4月

本学と京都市立大学を運営する京都市立大学法人設立

2011

平成23年  
9月

外来診療棟等（第2期）工事完成

2012

平成24年  
11月

創立百四十周年記念式典挙行

2013

平成25年  
4月

附属北部医療センター開設

2014

平成26年  
9月

三大学教養教育共同化施設（稲盛記念会館）竣工

2015

平成27年

学校教育法改正に伴う大学新体制スタート

附属図書館・合同講義棟



1992

鴨川より基礎1号館及び病舎を望む



1982

大学全景



1987

外来診療棟等



病院玄関

2007



2011

新大学門



2012



2014

三大学教養教育共同化施設

# キャンパスマップ (河原町・広小路) ・交通アクセス

京都府立医科大学のキャンパスは、  
 附属病院と併設する河原町キャンパスをはじめ、  
 いずれも京都の中心部に位置しています。  
 美しい鴨川沿いにある河原町キャンパスには  
 教育施設の他にも、カフェやレストラン、  
 郵便局やコンビニなどがあり、  
 キャンパスライフはとても快適です。

※平成28年6月時点



(完成イメージ)

## 建物一覽

- |                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| 1 基礎医学学舎            | 7 臨床講義棟                    |
| 2 基礎医学学舎実習棟         | 8 E病棟                      |
| 3 大学本部棟             | 9 北病棟                      |
| 4 管理棟               | 10 附属図書館・合同講義棟             |
| 5 外来診療棟・臨床医学学舎      | 11 看護学学舎                   |
| 6 病棟(A.B.C.D)・中央診療棟 | 12 体育館                     |
|                     | 13 永守記念最先端がん治療研究センター(建設予定) |

## 学内施設等



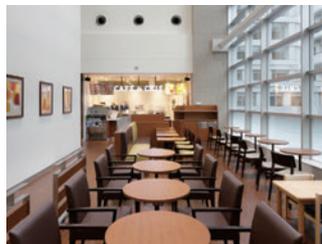
生協医学部店  
(管理棟 2階)



生協カフェテリア ポレポレ  
(大学本部棟 B1階)



京都ホテルオークラレストラン オリゾンテ  
(外来診療棟 4階)



オープンカフェ カフェ・ド・クリエ  
(外来診療棟 1階)



生協レストラン フレール  
(病棟 B1階)



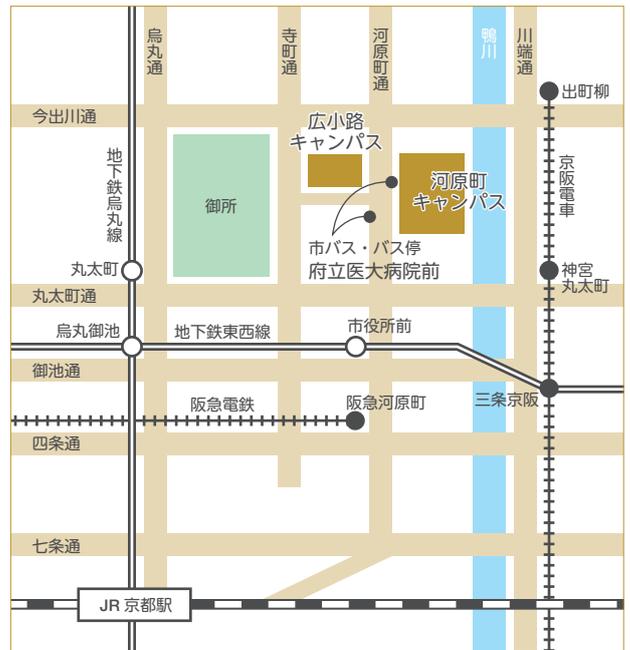
生協看護学科店(看 CO-OP)  
(看護学学舎 B1階)



コンビニエンスストア ローソン  
(E病棟 1階)



郵便局  
(E病棟 1階)



### 河原町キャンパス

京都市上京区河原町通広小路上の梶井町465

### 広小路キャンパス

京都市上京区清和院口寺町東入中御霊町410(上京区広小路通河原町西入る)

JR京都駅 (正面) から	市バス4,17,205系統	「府立医大病院前」 下車	河原町・ 広小路キャンパス
阪急電鉄 河原町駅から	市バス3,4,17,205系統	「府立医大病院前」 下車	
京阪電鉄 三条駅から	市バス37,59系統 京都バス23,43系統	「府立医大病院前」 下車	
京阪電鉄 神宮丸太町駅から	徒歩10分		
京阪電鉄 出町柳駅から	徒歩15分		



### 下鴨キャンパス(稲盛記念会館)

京都市左京区下鴨半木町1-5

JR京都駅・阪急烏丸駅 から	地下鉄烏丸線	「北山」 下車	徒歩7分	下鴨キャンパス
京阪 出町柳駅から	市バス1系統	「府立大学前」 下車	徒歩5分	
JR 二条駅から	市バス206系統	「府立大学前」 下車	徒歩5分	

〒602-8566

京都市上京区河原町通広小路 465

TEL 075-251-5167 (学生課入試担当)

<http://www.kpu-m.ac.jp>

